



BUREAU
VERITAS

WELFARE SERVICE APPRAISAL REPORT

(福祉サービス第三者評価 評価結果報告書)

許可保育所 まめどくれっしゅ

神奈川県横浜市港北区

【評価対象種別】 保育所
【評価方法】 横浜市版
【評価年度】 平成27年度

■実施概要	p.1
■総合評価	p.2-4
■分類別評価結果	p.5-20
■利用者家族アンケート 結果概要	p.21-36
■利用者本人調査 結果概要	p.37-39
■事業者様コメント	p.40

実施概要

事業所名	許可保育所 まめどくれっしゅ
報告書提出日	2016年 3月 28日 (評価に要した期間 約5ヶ月)
評価機関	ビューローベリタスジャパン株式会社

評価方法

1.自己評価 ■実施期間 2015年11月20日～ 2015年12月24日	自己評価には各保育士が参加し、職員会議などで結果を話し合い、その結果を園長、主任、法人でまとめました。
2.利用者家族アンケート調査 ■実施期間 2015年11月20日～ 2015年12月9日	利用者 54 名全員の家族を対象としたアンケート調査の実施をしました。アンケート用紙を配布し、締め切りまでの20日間に評価機関宛ての返信用封筒を使用して直接投函により回収しました。
3.訪問調査 ■実施日 1日目…2016年1月13日 2日目…2016年1月18日	法人に用意した事前資料と園の全職員で合議した自己評価および、利用者家族アンケートの集計結果に基づいて、2日間訪問し、園内施設や環境の見学、保育の観察とともに、園の取り組みを評価領域に沿って法人職員の同席のもと、聞き取りしました。園長はじめ新人保育士、非正規保育士、調理担当および看護師職員の対応で説明を受けて、具体的な取り組みを把握し、評価調査員で合議を行いました。
4.利用者本人調査 ■実施日 1日目…2016年1月13日 2日目…2016年1月18日	訪問調査の2日間で、保育およびリズム体操などの合同保育を観察しました。また、昼食の食卓に同席した場面では、好きな遊びや食事、お友達の話聞くことができました。

□ 総合評価（優れている点、独自に取り組んでいる点、改善すべき事項）

【施設の概要】

- ① 最寄り駅から徒歩6分の区役所にも程近い住宅街に立地した2階建てで屋上もあり、南側の私有道と西の道路に沿って園庭があります。2階の保育室のバルコニーから外階段を使って直接屋上や園庭に出られます。保育室は天井まで全面ガラス張りで陽光が取り込み、建物内の段差はほとんどないバリアフリーになっており、階段は子どもたちに優しい30度程の傾斜で、エレベーターも設置しています。保育室の廊下への扉にはのぞき窓を配して、保護者が子どもに気づかれることなく様子を見る事ができています。
- ② 意欲ある子どもを育てるために必要な体験型保育として、「にんげん力」を身につけるために必要な遊びや野外体験を提案・実践して“自分で考え、挑戦する勇気”を育てています。2大保育目標の一つ「センス・オブ・ワンダー」では、裸足でどろんこ遊びや畑仕事、園庭で飼育する鶏とのふれあいを通して、体験した自然の中での発見から生死などの「環境認識」を促しています。乳幼児期のうちから外遊びを「日常化」させることに重点を置き、子どもたちの「原体験」を大切に考えています。
- ③ もう一つの保育目標「人対人コミュニケーション」では、子どもたちが、毎日一人でも多くの人と挨拶を交わし、一つでも多くの仕事を目にする機会や体験できる場面をつくっています。園内・園外問わず、「散歩中にすれ違う全ての地域の人」に挨拶を交わすことを園の約束としています。地域の大人との交流を通じて、「人の目を見て意思を伝えられる人」を目指し、商店街ツアーや銭湯の日などの体験により、携帯やメールに頼らないコミュニケーション力を育てています。
- ④ 保育士は子どもの成長の先を見据えて、真に必要な体験を日常の中で行えるよう、児童・保護者人権チェックにより保育を振り返り、保育や行事の意義を重視した年間指導計画を保護者に提案しています。その一つとして、子どもが自分で判断して行動する力とリーダーシップの育成を目的として、3・4・5歳児の異年齢保育が実践されています。
- ⑤ 保護者には子どもの保育園の様子がありありと分かるように伝えることにより、保護者と協働の子育てを目指しています。ホームページには園での様子を写真でタイムリーに掲載し、毎日の連絡帳で24時間の子どもの状況の共有に努め、毎日のお迎え時には出来る限りお話しすることを励行して、保護者の子育てに役立てています。
- ⑥ 法人は、園の職員が保育に専念できることに重点をおいて、業務マニュアルや年間スケジュール、共用できる各種園だよりのフォーマットなど事務機能を担っています。バックアップ体制としては、本部のエリアマネージャーの内部監査機能や支援体制、職員育成計画としての全職員を対象とした職層別や目的別の職員研修、職員の自己啓発目的での外部研修参加および他園視察、外国インターシップへの奨励および、表彰制度も行っています。

【優れている点】

1. 積極的な戸外活動で、子どもたちが季節の変化を感じながら園生活を楽しんでいます

港北区の中心部、区役所に隣接した住宅地にある園は、広い園庭を持つ事はありませんが、園長をはじめ職員が工夫を凝らし、鶏小屋を作り、ポルタリングの壁や木製の小屋を配置しています。無造作に置かれた丸太に乗りバランスを取りながら渡る子どもたちは、自分で遊びを考えだして遊んでいます。近隣には整備された公園が多く、天気の良い日は毎日散歩に出かけ、子どもたちはのびのびと体を動かし戸外遊びを楽しんでいます。桜並木で季節を感じ、木々の葉の色づきを眺め、どんぐりや落ち葉を制作に使うこともあります。年長児はドッジボールやサッカー、リレーなどで身体能力を伸ばし、乳児もどんどん脚力をつけ、園から距離のある公園に出かけています。固定遊具絵遊び、集団ゲームや駆けっこなどをして遊ぶ中で、子どもたちは全身を動かし、全力で走り、体を自分でコントロールする力を身につけています。屋上遊びや、リトミックも子どもたちは大好きです。訪問調査第2日目は珍しく大雪の日で、園庭の積もっていく雪を暖かい部屋から眺めては「きれいきれい」と歓声を上げる子どもがいました。雪かきをしながら園の玄関に雪だるまを作っている子どもたちもいて、寒さに負けず、笑顔で雪遊びを楽しんでいます。職員は、子どもたちが自然と触れ合う中で、探索意欲を満足させ、多くの感動体験をしてもらえるように工夫を凝らしています。

2. 子どもたち一人ひとりの気持ちを職員が受け止め、信頼関係を育てる保育を実践しています

園児全体で54名とそれほど多くないため、子どもと保護者の顔を、職員全員が知っており、「おはよう」から「お帰り」まで、子どもたちは多くの職員から声を掛けられています。職員は常に丁寧で穏やかな言葉を遣っています。訪問調査時も、保育士が「チャレンジしてみようか」「相談してごらん」「上手に言えたね」「ゆっくりでいいよ」「すごかったね」などと声を掛ける姿を随所で見ることができました。「保育士が温かく優しく接することで子どもが心地よい体験を増やし、信頼関係が築ける」との園長の考えを、若い職員が理解して保育に臨んでいます。0歳児1歳児では、たっぴりのスキンシップで保育士が愛情を注いでおり、保育士の膝に座って好きな絵本を読んでもらっています。幼児になると、子どもたち同士で頭を寄せ合って相談しながら一緒に何かに取り組んだり、「ごっこ」遊びから発展させた創作劇のストーリーやせりふを子ども同士で決め、発表会形式で楽しんだりしています。過干渉をさけ、保育士は子どもたちの姿を見守っています。近隣の整備された公園に出かける時、お兄さん、お姉さんになった気分で小さい子どもの手を引く姿を見ることができるよう、異年齢の交流ではそれぞれの子どもが成長する姿が見られます。保育士と子どもの一対一の関わりを基盤にして、子どもたちが思い切り遊び、大切にされている体験を大事にした保育を実践しています。

3. 個性や人格を尊重した園長のリーダーシップにより、やりがいや学ぶ楽しさへの意識付けが進んでいます

今年度春に就任した園長は、「にんげん力を育てる」保育理念にもとづいて「こどもの主

体性を引き出す環境、こどもが自ら体験し学び成長する環境」を基本方針として、「こどもが生きる力を自分で模索していくために最適な環境作り」を実践するために、3ヵ年計画の初年度として「職員がやりがいを感じ、学ぶ楽しさを知る」事の具体化に取り組みました。

園長は、職員の経験や個性、人格を尊重した上で、毎日の昼礼や保育の振り返り、会議での職員自らが発言や提案しやすい機会づくりに努めました。非正規職員を含めた職員個別面談では職員の外部研修への参加希望を募り、職員への権限委譲と報告・連絡・相談の徹底を図りました。子どもの登降園時には保護者とのコミュニケーションに努め、場合によって面談も積極的に行なっています。子どもたちとは保育や活動、昼食などへ参加して、卒園が近づく5歳児とは別室での会食により就学への話を聞く機会も持っています。

子どもは週1回徒歩15分の園庭の広いどろんこ保育園（同法人運営）で交流保育を行なっています。また、当園の園庭の改造も進んだので、子どもたちが作った水たまりには自然木を転がして、森を探検するようにバランスを取りながら渡っています。本格的な構造知識を得て園舎を利用した頑丈なボルタリングボードを造作しました。また、近隣の人から園庭に手作りの丸太小屋の寄贈を受けて、毎日の子どもの遊びの工夫は拡大しています。近隣への挨拶がきっかけで歌や演奏、昔話などの来訪を得るなど地域の協力の輪ができています。園長の内外との信頼関係づくりにより職員のやりがいや学ぶ楽しさへの意識付けが進んでいます。

《改善することが期待される事項》

1. 実習生受入れには、社会貢献の認識を明らかにしたマニュアルの見直しなど整備が望まれます

中学生の職業体験や保育士養成中の学生および法人の保育実習受け入れにより、実習生の受け入れ増加が予測されます。実習生受入れ時は、オリエンテーションとして、個人情報保護の誓約はじめ、園長から当園の理念や方針および留意事項を説明しています。実習生には、実習期間中は毎日の実習と反省を記録する実習日誌の書き方を指導しています。園長は、実習生には保育士たちとの交流により、「保育は楽しい仕事である事」を伝えたいと考えており、実習生の指導ができる職員養成を課題としています。現状は、実習生受入れについて目的が異なるボランティアと同一の帳票を使用し、同じファイルに保管されています。実習は、次代を担う保育士育成など社会貢献の認識を明らかにした実習生受け入れマニュアルの見直しや実習プログラムの具体的な整備の工夫が望まれます。



※横浜市の評価基準を使用しています

※「ひょう太」マークは各評価分類の水準を表しています



3つ…高い水準にある
2つ…一定の水準にある
1つ…改善すべき点がある

評価領域Ⅰ 利用者（子ども本人）の尊重

評価分類	評価の理由(コメント)
<p>I-1 保育方針の共通理解と保育課程等の作成</p>  <p>(1) 保育の理念や基本方針が利用者本人を尊重したのになっており、全職員が理解し、実践しているか。 (2) 保育課程は、保育の基本方針に基づき、子どもの最善の利益を第一義にして作成されているか。 (3) 日常の保育を通して子どもの意見や意思を汲み取る努力をし、指導計画に反映させているか。</p>	<p>①「人間力を育てます」を保育理念として、子どもが必要な遊びや野外体験を実践して自分で考えて行動する力を育む事を掲げています。保育理念や保育目標、法人の経営方針や中長期的な事業計画は、本部が開催する年2回の全社職員研修で、理事長や経営層から明確に説明されています。6月の園の職員会議では法人の保育理念について、なぜこの年齢で体験が重要か、職員の言葉でディスカッションして理解を深め、職員ハンドブック(全職員携帯が義務付けられている)に記載の保育目標や運営方針を、毎月確認して実践につなげています。</p> <p>②園の保育課程では、法人の保育理念と運営理念を明記し、2大保育目標には①センス・オブ・ワンダー(自然に触れることで受ける不思議な心理的感覚を表現する概念)は、成長した時の精神的基盤となるとし、②人対人コミュニケーションでは、物怖じせず誰とでも目を見て話ができる子を育成するとしています。</p> <p>③発達過程では、子どもの年齢ごとの発達を通して一貫性があり、田植えや稲刈り、雪遊び遠足、キャンプなどで自然を体感し、お店屋さんごっこ、銭湯でのおふろの日、交通安全教室、商店街ツアーでは社会生活を体験し、歩け歩け大会、マラソン大会およびボルタリングおよびリズム体操や雑巾がけでは運動機能や体幹バランスを育成して、朝の座禅では心の鍛錬が行われています。</p> <p>④年度末には次年度の保育目標や方針を明確にする策定会議の開催にあたり全職員から次年度に向けての提案を集めています。保育課程は保護者と共通認識をもった保育に視点をおいて策定し、必要があれば年度途中でも見直しています。</p> <p>⑤年度初めの保護者懇談会では指導計画のプリントを配布して、クラスごとに指導計画を説明して保育への理解を深めています。年間スケジュール表はホームページからいつでも入手できています。</p>
<p>I-2 子どもの発達や状況に応じた適切な援助の実施</p>  <p>(1) 入園前や入園後すぐに子どもの発達状況や課題を把握しているか。 (2) 新入園児の受け入れ時の配慮を十分しているか。 (3) 子どもの発達や状況に応じて指導計画を作成し</p>	<p>①入園時面接では児童票や「子どもの様子」(0歳児は「こどもの姿」)などの記述内容だけでなく、子どもの発達状況や普段の生活環境、生育歴や既往症、アレルギーや障害について口頭で詳細に聞いています。入園后面談では、子どもの様子の観察や保護者の入園への不安などの相談も受けており、把握した内容は、個別計画および毎日の保育の留意点などに反映しています。</p> <p>②入園当初、子どもの様子や保護者が慣れ保育を希望する場合は、短時間保育から始めて徐々に時間を増やしています。通常の保育までの期間は、子どもや保護者の様子をみながら、連絡帳やメールだけでなく登降園時に保護者と毎日相談するなど、子どもや保護者の園生活への不安解消に努めています。特に、0・1歳児には一人ひとり担当の保育士があたり、連絡帳は24時間の時間軸に家庭と園からの食事や体調、生活の様子を記入して情報共有を図っています。子どもによっては投げ所となるタオルや毛布・縫いぐるみなどを持ち込んでいます。また、新入園時期は在園児の保育計画とは別にその子どものペースに合わせた保育を行なっています。</p>

<p>ているか。</p>	<p>年間の期ごとの目標にむけて、ねらいと生活・遊びの月間指導計画を作成しています。毎週の学年会議では職員が子どもの日常の様子を話し合い、週間保育計画(乳児は個別計画)を作成します。計画は天候や時には子どもの要望で変更もされますが、クラス担当保育士が毎日振り返りを記し、保護者からの要望および直接子どもから聞き取った希望も入れて、学年会議で次週の週間保育計画に反映させています。</p>
<p>I-3 快適な施設環境の確保</p>  <p>(1)子どもが快適に過ごせるような環境(清潔さ、採光、換気、照明等)への配慮がなされているか。 (2)沐浴設備、温水シャワーなど体を清潔にできる設備があるか。 (3)子どもの発達に応じた環境が確保されているか。</p>	<p>①園舎内や屋外の清掃は職員の掃除当番を決めて実施しています。特に汚れた箇所はホワイトボードに明記して清掃を実施しています。ゴミの始末や洗濯物など館内の臭いの原因については、発生させない事を原則に、早番や夜の業務に始末や洗濯を組み入れて、衛生管理に努めています。</p> <p>②園舎は天井までのガラス面と園庭の配置により、いずれの保育室にも十分な採光や陽射しを取り込まれ、窓やバルコニーの開閉により通風および換気しやすい設計になっています。保育室には温度・湿度計および加湿器を完備して、一定を心がけています。近隣からは園活動に参加や協力を得ており、園ならではの子どもたちの歓声や音楽などへの苦情はほとんどなく、行事のお知らせや報告の挨拶時には感謝を伝えています。</p> <p>③沐浴設備や温水シャワー設備(館内・園庭)についても清掃当番が毎日清掃しており、隔月の設備点検表チェックで管理しています。</p> <p>④0歳児は個別の保育で開始し、ほふく室も設けています。成長にともなって1歳児との合同保育や幼児とも合同でリズム体操を行なっています。乳児・幼児それぞれの保育室は、遊び・食べる・寝るなど機能別にコーナーを確保して、乳児・幼児合同の行事や活動の時は、一体化してホールとして使用しています。卒園前の幼児と園長の会食や発表ための年齢別の練習などは共用部の個室を活用しています。</p>
<p>I-4 一人一人の子どもに個別に対応する努力</p>  <p>(1)子ども一人一人の状況に応じて保育目標を設定し、それに合わせた個別指導計画を作成しているか。 (2)子ども一人一人の発達の過程に応じた対応をし、その記録があるか。</p>	<p>①3歳児未満の個別計画やアレルギーなど配慮が必要な幼児には個別指導計画を作成しています。</p> <p>毎週の学年会議、毎月の職員会議では個別のケースを検討して計画の見直しを行ないませんが、担当保育士の毎日の振り返りにより、必要に応じて保護者と相談や面談を行ない保育計画や子どもへの係り方法など細やかに調整しています。</p> <p>②子どもや家庭の状況および希望などは児童票などに記して個人ファイルに保管しています。入園後の子どもの成長発達に関する記録を追加したファイルは事務所の書庫で管理して、職員間で情報を共有しています。進級時には、新たな担当保育士へ個別記録や口頭で申し送りされています。</p>
<p>I-5 保育上、特に配慮を要する子どもへの取り組み</p>  <p>(1)特に配慮を要する子どもを受け入れ、保育する上で必要な情報が職員間で共有化されているか。 (2)障害児保育のための環境整備、保育内容の配慮を行っているか。</p>	<p>①特に配慮を要する子どもについては、状況に応じて医師や第三者委員への相談および連携により、子どもの状態にふさわしい保育環境を整備しています。また地域の支援コーディネーターの定期巡回により保育士へアドバイスを受けるなど、対応能力の向上に努めています。食物アレルギーなど、医師の指導書は6ヶ月ごとに更新するとともに、保護者とは頻りに面談して記録の更新・管理に努め、いつでも確認できる状況を確保しています。</p> <p>②障害がある子どもの受け入れについては、当法人グループの養育施設の指導を仰いで、発達支援などの職員研修を実施しており、毎日の昼礼や学年会議、ケース会議等で担当保育士や専門職員・関係者が協議して、保護者と連携した保育体制を整えています。</p> <p>③虐待がうたがわれるもしくは発生予防としては、虐待対応マニュアルの整備や研修の実施、職員ハンドブックの習得や「保育士行動着眼点集」を活用した職員会議での自己評価など、全職員での共通認識を図っています。保護</p>

<p>(3) 虐待を疑われる子どもの早期発見と適切な対応を心がけているか。</p> <p>(4) アレルギー疾患のある子どもへの適切な対応ができているか。</p> <p>(5) 外国籍や帰国子女など、文化の異なる子どもに対して適切な配慮がされているか。</p>	<p>者との情報共有は、連絡帳やメールのやり取りだけでなく毎日の降園時に連絡や相談を励行し、場合によっては面談を行なっています。保護者とともに子どもの成長を喜ぶことで保護者の悩みや保育負担の軽減に努めています。</p> <p>④アレルギー疾患のある子どもについては写真付きの一覧表を事務所に掲示して全職員で共有し、日常的に看護師が保育に入り、顔色や行動により状態把握に努めています。食物アレルギーの子どもへの対応はアレルギー食提供マニュアルの手順に沿って、除去食を別の調理器具で調理し、子どもの氏名・写真・アレルゲンを書いたトレーに清浄な専用食器を使用して提供しており、お替りも一品ずつ名前入りのケースに用意しています。</p> <p>⑤文化や宗教などにより生活習慣が異なる子どもへの体制準備として、人権チェック職員研修により、人権の尊重について職員が自己チェックする事を習慣づけています。</p>
<p>I - 6 苦情解決体制</p>  <p>保護者がサービスについての要望や苦情を訴えやすい仕組みになっているか。</p> <p>要望や苦情等を受けて、迅速に対応できる仕組みになっているか。</p>	<p>① 年度当初に保護者へは「保育園における苦情解決につきまして(お知らせと確認)」の書面を配布して、苦情解決責任者と苦情受付担当者および第三者委員の設置を伝えています。保護者の意見や要望は、日常的には連絡帳や降園時に口頭での意見、電話やメールにより園に要望などが伝えられています。保護者懇談会では保護者の意見を聞く場面を設け、玄関には意見箱と「ご意見・ご提案シート」を設置し、ホームページでは苦情受付ホットラインを設けて電話番号と受け付け時間とメールアドレスを記載しています。市の福祉サービスへの相談受付チラシやパンフレットを園の玄関に置くなど、保護者が苦情など訴えやすい環境を整えています。また、年1回、インターネットによるアンケートを実施して、緊急性によっては即日回答し、園の運営に活かしています。</p> <p>② 第三委員の設置については、5人の委員の氏名と電話番号を保護者あて知らせています。日常的に園で受け付けた苦情などは緊急性を判断して即日の打合せや学年会議、職員会議で対策や改善を討議し、解決・回答を実施しています。ホームページやアンケートなど法人に寄せられた苦情についても緊急性により速やかな対応を行い、法人実施の園長会議で対策を討議し、園の職員会議に持ち帰り職員間で周知・共有を図っています。</p>

評価領域Ⅱ サービスの実施内容

評価分類

評価の理由(コメント)

Ⅱ-1 保育内容 【遊び】



- (1) 子どもが主体的に活動できる環境構成(おもちゃ・絵本、教材、落ちて遊べるスペースなど)ができていますか。
- (2) 遊びが一斉活動に偏らないよう配慮しているか。
- (3) 動植物の飼育や栽培・園外活動など、自然に触れたり地域や社会に関わる体験が取り入れられているか。
- (4) 子どもが歌やリズム、絵や文字、からだを動かすなどの体験を通して、自分の気持ちを自由に表現できるよう配慮されているか。
- (5) 遊びを通して子ども同士の関係や保育士との関係が育つよう配慮しているか。
- (6) 積極的な健康増進の工夫が遊びの中でなされているか。

- ① 子どもたちが自主的に遊べるように年齢に合った玩具を用意しています。収納棚に並んでいる玩具箱には写真を貼っており、子どもが遊びたい玩具を手が届く棚から選び、遊んだあとは片付けることができるようにしています。色鉛筆、クレヨン、色画用紙、糊やテープなどの教材も豊富に用意しています。絵本も表紙が見えるように置き子どもたちの興味を誘っています。朝の会や午睡前の読み聞かせで、子どもたちはたくさんの本に出合っています。一階の保育室を囲むように園庭がありボルタリングや木製の小屋を配置しています。何本かの丸太を置き、子どもがバランスを取りながら遊んでいます。子ども自ら遊びを考え出して遊んでいます。
- ② 0、1歳児は1階の保育室を使用しています。保育士と子どもの動線に合わせて玩具棚や収納棚を配置しており、訪問調査時も広々とした保育室で好きな事をして過ごす子どもたちを観察できました。0歳児は特にスキンシップを大切に、きれいな色のボールや音の出る玩具を用意して五感を刺激しています。天井から作品を下げるなど、季節の装飾や作品展示の手法にも、子どもの目線を意識しています。1歳児では自動車や電車を線路で繋ぐなど、手指を使った遊びを増やしています。保育士の膝で絵本を読んでもらうなどの体験で、たっぷりの愛情を受けて成長しています。
- ③ 2、3、4、5歳児クラスは2階の同じフロアで過ごしていますが、つい立てや家具で仕切り、それぞれの指導計画に沿ってクラス別や合同で日々の活動をしています。年齢の違う子どもたちが一緒に遊ぶ楽しさを味わえるようにしています。あいうえお表や地図を貼り、知育の教材も揃え、知的な好奇心を満足できる環境を整えています。子どもを主体とした保育に力を入れており、自由な発想を保育に取り入れ、子どもの年齢と成長に応じた環境構成になるよう、掲示物や壁面装飾、収納方法など、細部にわたり保育士が配慮しています。
- ④ 日頃から子供たちの様子を把握し、大好きな表現活動について、5歳児は年度の初めに2月の発表会では創作劇をする事に子どもたちの相談がまとまり、題を決めました。子どもたちの意見を集めて話の筋を考え配役を決め、劇の背景や衣装を作り、保育士と子どもたちがアイデアを出して完成させています。この取り組みで、子どもたちは自由に表現する楽しさと発言する勇気、出来上がった時の達成感などを体験しています。園長は、この創作劇は見る人に伝わるような構成と演出を考えて作って欲しいと保育士に話しています。どのクラスも、月案、週案作成では、静と動の活動、自由遊びと一斉活動の時間のバランスを考えています。年齢や成長発達段階に応じたルールを学べるゲームなども計画に入れて取り組んでいます。
- ⑤ 庭に鶏小屋があり、子どもたちが当番を決めて鶏の世話をしています。畑では夏野菜や、枝豆、じゃがいも、さつまいも、ブロッコリー、イチゴ、稲などを収穫し、調理保育等に使用しています。大豆を収穫してきな粉を作りました。また、プランターに球根を植え、水やりをして花を咲かせて楽しみました。カブトムシやメダカなどの飼育体験もあります。
- ⑥ 朝の会と座禅、お掃除は毎朝必ず行う日課として位置づけ、子どもたちは背筋を伸ばして座り、静かに目を閉じています。法人の方針を受け音楽指導にも力を入れており、自由に体でリズムを取りきれいな声で歌っています。訪問調査時にはリトミックを見学しましたが、曲目の音の変化や保育士の声を

よく聞いて、目を輝かして真剣に取り組んでいる子どもたちの姿を見ることができました。希望者は毎週決まった曜日に水泳指導や英語遊び、ピアノ等に参加できる体制もあります。

- ⑥3、4、5 歳児は壁画を共同制作しています。子どもたちの制作物を大切にしており、製作途中の作品を保管して続きをすることもできます。散歩先で拾った木の実や落ち葉、石やつるなどを使った制作や、空き箱や廃材を使った工作なども行っています。保育士は子どもたちの発想が発展するように声掛けしています。
- ⑦異年齢の子どもと一緒に散歩に出かけるなど一緒に過ごす機会も多く、少人数の家庭的な園の良さを最大限に活かしています。正月遊びや運動会ごっこ、野菜スタンプなどの制作や行事も一緒に楽しんでおり、大きい子どもは小さい子への優しさや思いやり、小さい子どもには人を慕う心が芽生えるなど、お互いに成長する姿が見られています。子ども同士のトラブルについては、保育士がお互いの意見を聞き代弁するなどしており、子どもの成長に応じた仲直りの援助をおこなっています。
- ⑧近隣には大小の公園があり戸外遊びに恵まれた環境です。散歩は9時出発と決めており、落ち葉を踏んでサクサクという音の感覚を楽しむなど、木の実をポケットいっぱい詰めるなど、季節を体で感じる機会となっています。大好きな電車を見ることが出来る場所や、商店街を歩く街並み見学も楽しみの一つとなっています。成長に応じた固定遊具、アスレチック式の遊具に挑戦できる公園もあり、乳児が安全に遊べる芝生を敷き詰めた公園もあります。積極的な園外活動では、交通安全のルールや横断歩道の渡り方なども学んでいます。室内でのリトミック、夏のプール遊びなどでも健康増進に積極的に取り組んでおり、裸足保育の効果もあって、子どもたちは速やかに動く身のこなしを身につけており、ぶつかったり転ぶ事も少ない状況です。

Ⅱ－１ 保育内容 【生活】



- (7) 食事を豊かに楽しむ工夫をしているか。
- (8) 食事の場、食材、食器等に配慮しているか。
- (9) 子どもの喫食状況を把握して、献立の作成・調理の工夫に活かしているか。
- (10) 子どもの食生活について、家庭と連携しているか。
- (11) 午睡・休息は発達や日々の子どもの状況に応じて対応しているか。
- (12) 排泄は個人差があることを十分に配慮して対応しているか。

- ①法人本部の管理栄養士が作成した統一献立に沿って、各園の栄養士と調理担当が美味しい給食を提供しています。食材の大きさや味付け、調理法などについては、園の栄養士と調理担当が対応しており、子どものその日の体調に合わせた食事の提供も実施しています。季節感のある野菜や豆、魚介類など旬の食材をたくさん使っており、お米は産地からの直送品を使用しています。栄養士や調理担当は、子どもたちの喫食状況を確認し、食事の会話から子どもたちの嗜好を把握しています。「噛むメニュー」を増やしたいとの保育士の提案からイリコがおやつに入っていました。
- ②子どものペースで食事がとれるように配慮しており、ほとんどの子どもたちは給食を完食しています。食べる前に保育士が量を調節し、途中で様子を見ておかわりを勧めるなど、残さず食べる達成感を感じることができるようにしています。お誕生日メニューやクリスマス会などの季節行事では盛りつけを工夫し、天気の良い日は屋上で青空の下で食事を摂るなど、楽しい雰囲気を出しています。手作りのおやつも好評です。食器や箸、スプーン、フォークも、子どもが使いやすい安全な物を用意しており、子どもの体格に合ったテーブルと椅子も用意しています。4、5歳児は喜んで給食当番を務めており、その日の料理名を読み上げ挨拶をして食べ始めていました。
- ③法人本部作成の食育計画(年間計画)に基づき、栄養士と保育士が連携して園独自の食育に取り組んでいます。収穫した食材に触わり、形や重さ、匂いを感じ、とうもろこしや枝豆を剥くなど、多彩な食育活動を実施しています。野菜の切り口でスタンプをしたり、2歳児の後半には食材ボードを活用してクイズを出したりして、食に関する興味を誘っています。子どもたちの関心の高い内容の絵本を用いて食文化や伝統行事、栄養素の話などを話して聞かせています。調理用のはさみや包丁などの調理器具を正しく使う調理保育では、芋餅や枝豆蒸しパンなどを作っています。

- ④子どもの年齢や体調、生活リズムに配慮しながら十分な休息が取れるように配慮しています。静かな環境のもとで、自然に眠りにつけるようにしており、午睡の際はカーテンを閉め、空調と室温にも注意を払っています。午睡確認表を用いて呼吸チェックを行い0歳児では10分毎に記録を取っています。子どもの顔色や、布団が顔に覆い被さっていないかなども確認しています。午睡時に保育士が保育室を離れることはありません。月齢や機嫌などに応じて午前睡眠や夕寝が可能となるように環境を整えています。就学が近づいた5歳児は1月から午睡をなくし、集中して本を読むなど静かな遊びを設定しています。
- ⑤トイレトレーニングは、子どもの発達状況に合わせて柔軟に取り組んでいます。発達の個人差が大きいいため、園での取り組みが理解しやすいように保護者に説明をしています。それぞれの家庭の価値観を尊重した対応を取っています。職員間での情報の共有にも努めており、それぞれの子どもの基本的な生活習慣の獲得については、担任以外の保育士も把握しています。

Ⅱ - 2 健康管理・衛生管理・安全管理 [健康管理]



- (1) 子どもの健康管理は、適切に実施されているか。
- (2) 健康診断・歯科健診の結果を保育に反映させているか。
- (3) 感染症等への対応に関するマニュアルがあり、保護者にも徹底しているか。

- ①保健計画マニュアルの中に保健衛生と健康管理に関するマニュアルがあり、職員全員に周知しています。アレルギー疾患対応や保育園での与薬等も基本の対応が明確になっています。子どもの既往症は入園面接の時に確認し職員会議で共有しています。年度途中にかかった感染症や、受けた予防接種を申し出により記録しています。子どもの発達状況や予防接種の記録、健康診断結果、毎月記入して保護者へ渡しています。また、その測定結果は、身長体重カードで保護者に報告しています。
- ②内科は年2回、歯科健診は年1回行い、その結果は乳幼児健康診断表に記入して保護者に知らせています。4歳児は横浜市の眼科検診を受けています。食後の歯磨きは年齢に合わせた方法で行っています。6月には看護師が中心となって、絵本や紙芝居を使って健康指導を実施しました。3歳児からは座って歯ブラシを持って自分で磨き、保育士が仕上げ磨きをしています。4、5歳児は、毎年歯科検診時に歯磨き指導(赤染め体験など)を実施しています。
- ③看護師は主に0、1歳児クラスを担当しながら、朝いちばんの子どもたちの様子を観察し、保護者との会話や連絡帳から、確認が必要な事項があった場合は即対応しています。季節の感染症など子どもたちの健康管理について、早い判断が必要な場合も、的確に行動しています。法人本部のバックアップも強力で、保育園での看護師の業務を明確にしており、看護師は心強い存在です。手作りの保健だよりで情報発信にも努めています。
- ④感染症マニュアルは事務室に置き活用しています。子どもに感染症が発症した場合は、掲示板にて保護者に情報提供しています。職員はミーティングや業務連絡のためのノートで情報を共有し、迅速に対応しています。
- ⑤感染症の疑いがある子どもや発熱した場合は、別室で過ごせるようにして保護者に連絡し、症状により医師の受診など、柔軟な対応を心掛け、蔓延防止に努めています。子どもが感染症にかかり、治った後に登園する時は、医師の治癒証明が必要な場合があることなどを、保護者には事前に知らせています。

Ⅱ－２ 健康管理・衛生管理・安全管理 [衛生管理]



(4) 衛生管理が適切に行われているか。

① 衛生管理マニュアルの中に児童保健衛生、病気発生時にフローチャート、施設衛生管理、消毒の方法の各項目があります。保健衛生関係の手順が明確になっており、トイレ内や洗面に掲示して職員に周知しています。保育室の床、トイレや沐浴室の清掃は職員が交代で行っていますが、今回のアンケートの自由意見には「床面がいつも汚れている」の記述があった事を受けて、園では課題として、昼礼で確認に取り組んでいます。また、玩具の消毒も実施しています。定期害虫駆除も実施しています。厨房の衛生管理は、マニュアルに沿って実施しています。特にノロウイルス等の発生しやすい時期では、感染症予防対策を入念に実施しています。

② 看護師が中心となって嘔吐下痢の対応研修を実施し、嘔吐物処理マニュアルを完備しています。各保育室の所定の場所に、嘔吐物処理セットを常備しており、発生時には即刻に看護師に連絡して処理セットを活用します。空気清浄機を置き、温湿度もこまめに確認しています。保育環境の整備では、看護師と保育士、職員全員が連携しています。

Ⅱ－２ 健康管理・衛生管理・安全管理 [安全管理]



(5) 安全管理に関するマニュアルがあり、事故や災害に備えた安全対策が実施されているか。

(6) 事故や怪我の発生時及び事後の対応体制が確立しているか。

(7) 外部からの侵入に対する対応策が整備されているか。

① 安全管理マニュアルがあり、職員全員がその内容を理解しています。「危機管理マニュアル」には、災害、ケガ、不審者侵入、光化学スモッグの対応マニュアルと、発生時のフローチャートがあります。火災、地震、避難先一覧、園児引渡し・残留園児の保護、災害に対する環境整備等について、職員が打ち合わせをしています。地震対策として、靴箱、ロッカー、家具等の転倒防止には特に注意を払っています。

② 当園では正規職員全員が上級救命士の資格を持っていて、事故発生時、事故対応時の職員の動きは明確になっています。電話番号ファイル、連絡網、緊急連絡先一覧表を事務室に掲示して、病院一覧表、緊急時連絡手順書もあります。災害時のお迎えについては「園のしおり」に明記しています。園舎が使用可能な時は24時間開園することとし、保護者に責任をもって渡すことを定めています。園舎が壊滅や浸水した時は指定避難場所で引き渡すこととしています。避難場所には散歩等で出かけ、保育士、園児共に確認済みです。子どもの安否情報、園舎の状況、避難先、子どもの受け渡し先はホームページの「どろんこ災害緊急掲示板」を活用できます。

③ 法人が定めた書式で、ヒヤリハット、インシデント報告書、事故報告書を記入しています。ヒヤリハットは小さなことも書くように園長が指導しており、内容を職員会議で共有し再発防止に努めています。事故防止チェックリストを活用し3か月ごとに点検しています。また、隔月で設備点検チェックリストを用いて点検を徹底しています。防災害備蓄品については、全園児2日分の水、レトルトやフリーズドライ食品、おむつ、ブルーシート、カセットコンロ等を用意しています。備蓄品の消費期限等は、園長がリストで管理しています。

④ 年間計画に沿って、毎月ねらいを定めて時間や想定を変え避難訓練を実施しています。いずれの訓練も、効果を上げるように工夫して実施しており、職員は、様々なパターンに対応できるようになっています。不審者対応訓練も実施しており、玄関のインターフォンでの開錠時には、事務所に掲示した保護者やお迎え登録者の名前および写真一覧の確認した上での開錠を申し合わせています。

Ⅱ-3 人権の尊重



- (1) 保育中の子どもの呼び方や叱り方などで、子どもの人格尊重を意識しているか。
- (2) 必要に応じてプライバシーが守れる空間を確保できるような工夫がされているか。
- (3) 個人情報の取り扱いや守秘義務について、職員等に周知しているか。
- (4) 性差への先入観による役割分業意識を植え付けないよう配慮しているか。

- ① 当園の目標では職員全員に「子どもたちの成長を見守り、頑張りを見つけて褒める言葉を遣うように」に取り組んでいます。子どもに話しかける際には、年齢に合わせ、穏やかで分かりやすい言葉を選ぶように心掛け、呼び捨てにせずに「さん」や「ちゃん」「くん」で表現するなど、発達段階にあった声掛けをしています。職員や保育士は、子どもを傷つけたり否定するような言葉遣いをしないように、自分たちの人権感覚を高めるために「児童・保護者人権チェックシート」を活用して、日々の保育で子どもを尊重した保育を実践しています。
- ② 児童票等の個人情報が含まれる書類は、事務室の鍵のかかる書庫に保管しています。持出し禁止についても職員間で徹底しています。子どもの氏名の掲示や、クラスだよりへの氏名掲載、園が撮影した写真等を公開する際にも、その都度保護者の了解を得ています。事務室のパソコンはセキュリティーの鍵を付け、個人情報のファイルにはパスワードをかけています。
- ③ 保育室は、移動可能なパーテーションやついたて、カーテンなども利用し、子どもが一人になれる場所を子どもたちが見つけて遊んでいます。幼児室には子どもが他の視線を意識せずにひとりで過ごせる場所を作っています。保育士と1対1で話せる環境としては事務室や交流室などを利用しています。
- ④ 研修の実施やコンピテンシー(理想的な行動基準)シートを使用している啓発活動では、職員の人権感覚を高めるための自分自身の業務を振り返り、自身の目標を立てて具体的に取り組むことにつなげています。園での活動では、性差で区別されることなく、行事を行ない、役割を持っています。玩具なども性別関係なく使用できます。グループ分けや順番を性差で分けることもありません。また、無意識に性差による固定観念で保育していないか、職員同士が月一回のクラス会議で意見交換をし合える環境を整えています。

Ⅱ-4 保護者との交流・連携



- (1) 保護者が保育の基本方針を理解できるよう努力しているか。
- (2) 個々の保護者との日常的な情報交換に加え、個別面談等を行っているか。
- (3) 保護者の相談に応じているか。
- (4) 保育内容(行事を含む)など子どもの園生活に関する情報を提供しているか。
- (5) 保護者の保育参加を進めるための工夫をしているか。
- (6) 保護者の自主的な活動への援助や意見交換を行っているか。

- ① 法人本部の用意した会社概要等を記載した「入園のしおり」は情報量の多い冊子となっており、保育理念、保育目標、園での過ごし方や年間スケジュールなどを掲載しています。入園時には、入園のしおりを保護者に配付し、園のルールや特徴を知らせています。園の玄関など保護者の目に触れる場所に保育理念、保育目標等を掲示しています。
- ② 入園面接では、保育の方針を説明し、保護者との連携を大切にしている事を伝えています。面接では、家庭の育児方針や園に望むことも聞いています。保護者のニーズを的確に把握したいと考え、親子遠足、運動会などの保護者参加行事終了後、保護者アンケートを実施し、集計結果を次回の企画に活かしており、集計結果は園だよりや掲示で保護者にも知らせています。
- ③ 年2回の保護者懇談会は、保護者が参加しやすい時間帯に開催しており、ほぼ全員の保護者が参加しています。クラス毎に集まり、保育士が日頃の保育の様子や、目標、ねらいを話し、保護者の質問にも丁寧に答えています。保育の様子をビデオ上映し、多くの写真を掲示しており、判りやすい情報提供は保護者に好評です。
- ④ 個人面談は申し出やお迎え時の相談など、随時実施しています。午睡までの時間帯に保護者が保育に参加する保育参加も実施しています。保護者より「個人面談の期間を設けた方がいい」との意見が出ており、受けていない保護者への面談希望日の問合せなど、検討が急がれます。保護者の相談には、時間を取って対応しています。前もって電話等で保護者の来園がわかっている時は、周囲を気にしないで話せる環境を用意しています。相談内容は経過記録等に記載しており、守秘義務にも十分配慮しています。
- ⑤ 全園児について連絡帳を使用しており、その日の子どもの様子を丁寧に記

載しています。連絡帳は法人本部で定められた書式を用いており、乳児は24時間の目盛りに、食事の摂取量や睡眠の様子を細かく記入し、子どもに必要な働きかけに連続性が保てるようにしています。園の玄関には各クラスのボードがあり、今日の活動を書いて紹介しています。食に関する情報提供にも努め、離乳食を始め献立表を掲示し、給食のサンプルケースを置いています。

- ⑥月の園だよりは法人本部作成のフォーマットに、園長からの言葉、行事予定、毎月のクラス目標、おたんじょうびなど園独自の情報を加えた情報量の多いものとなっています。年間行事予定表は入園時と進級時に渡し、保護者の参加行事は早目に知らせていて、ホームページからも入手できています。一階の保育室前の廊下には保護者への連絡用の掲示板を用意してお迎え時に記載しています。特に知らせたい事柄がある時は、保護者宛お手紙を渡しています。どろんこ祭りや餅つき会などの園の行事に保護者が自主的に協力する姿が見られます。とはいえ、「行事予定の変更が多い、早めに知らせて欲しい」の保護者の意見もあり、お迎え時の会話による保護者へ情報周知や連絡ノートによる情報周知の確認など、保護者との良好な関係づくりに一層の工夫が望まれます。

評価領域Ⅲ 地域支援機能

評価分類	評価の理由(コメント)
<p>Ⅲ－１ 地域のニーズに応じた子育て支援サービスの提供</p>  <p>(1) 地域の子育て支援ニーズを把握するための取り組みを行っているか。 (2) 地域の子育て支援ニーズに応じて施設の専門性を活かしたサービスを提供しているか。</p>	<p>①園の三か年計画の具体化として、2017年度の目標に「地域の子育ての拠点として、子育ての楽しさを伝え続け、子育てをするすべての人のオアシスとなる。」を挙げています。地域との深い絆づくりに力を入れており、無人、無料のフリーマーケットの「勝手かご」を設置しています。園の行事、どろんこ祭りやお餅つきには、園長が近隣の住宅に挨拶に出向き、行事参加や来園を促しています。地域の子育て世代の支援には、更に力を入れていきたいと考えており、来年度は地域担当職員を置くなどの計画を立て、詳細を検討しています。</p> <p>②地域の子育てを支援するために園はさまざまな事業を主催しています。子育て支援センター「ちきんえっぐ」では、月曜日から金曜日を活動日として、午前中は親子で参加できる園庭や室内遊び、自然食堂や芸術学校、自然学校を開催し、午後には子育て相談を行なっています。自然食堂のお菓子作りや、12月の芸術学校では集まった親子で正月遊びやクリスマスツリーづくりが行なわれて、製作の様子は、ホームページや月刊の「ちきんえっぐだより」には写真掲載により紹介されています。いずれの活動にも園長や職員が参加して、午前中の活動に来園した保護者にはアンケート記入や親同士の感想や話合いの時間を設けて、子育ての悩みや情報交換およびアドバイスを行なっています。子育て相談含め、把握した地域の子育て世代のニーズ把握に努めています。把握したニーズは職員会議やミーティングで話し合い、次回の企画に活かしています。</p> <p>③自然食堂は、地域の親子が参加して一緒におやつなどを作って一緒にいただく交流で好評です。月間「ちきんえっぐだより」では当月の予定に餅ピザや簡単ほうとう等、作るおやつ名を記しています。活動報告では、夏に収穫した枝豆が大豆になるのを待ったきな粉づくりおよび同系列園の畑で初めて栽培したジャガイモでも餅を作る様子を写真で掲載し紹介しています。当たよりは、関係機関に配布やホームページからのダウンロード、園前の掲示板に張り出して、地域からの参加を呼びかけています。当教室は栄養士が行ない参加者にはアンケート記入や感想の話合いの時間を設けて、参加した保護者からは離乳食や献立の相談を受けています。</p>
<p>Ⅲ－２ 保育所の専門性を活かした相談機能</p>  <p>(1) 地域住民への情報提供や育児相談に応じているか。 (2) 相談内容に応じて関係諸機関・団体との連携ができる体制になっているか。</p>	<p>① 園の外に向けた掲示板を設置し、ポスター掲示などで情報提供をしています。育児相談は月曜日～金曜日の13時～16時半まで実施しており、電話や来園いずれでも行なっています。予約なしでも受け付けて利用されていて、園長が交流保育などに参加している保護者から相談を受けることもあります。内容によっては継続しての支援も実施しており、より専門性の高い相談機関を紹介することもあります。</p> <p>②医療機関、療育センター、近隣の児童相談所など関係機関の一覧表を作成し、職員がいつでも閲覧・確認できるようにしています。保育士は保育の相談援助法を学んでいます。園児以外にも園庭開放の利用の子どもの保護者から相談を受けた場合、必要に応じて関係機関を紹介しています。時には、地域療育センターの巡回相談につなぎ連携する体制を整えています。</p>

評価領域Ⅳ 開かれた運営

評価分類	評価の理由(コメント)
<p>Ⅳ－１ 保育所の地域開放・地域コミュニティへの働きかけ</p>  <p>(1) 保育所に対する理解促進のための取り組みを行っているか。 (2) 子どもと地域との交流により、子どもの生活の充実と地域の理解を深めているか。</p>	<p>①園のどろんこ祭は園前に掲示し、自治会などを招待して参加を得ています。地域の小学校では校庭の借用や子どもの就学前の保育所児童保育要録の提出などで連携を図っており、中学生の職業体験なども受け入れています。地域へは子育て支援センター活動として、園庭・室内遊びで毎月10日間程施設開放を行なっています。自然食堂や餅つき、芸術学校や自然学校、屋上でのプールなどの行事では園を開放して、園児と一緒に遊具を使う場があります。</p> <p>②近隣の人の好意で「庭の果物を取りにおいで」と誘われて子どもたちは体験し、歌や演奏、昔話など出張イベントにも夢中で聞いていました。園庭の子どもたちが遊べる丸太小屋は地域の人の手作りで寄贈されるなど、近隣と友好な関係があります。また子どもの衣料品のリサイクル「勝手かご」活動は在園児家庭に留まらず、地域の利用もあり活発になっています。</p> <p>③子どもたちは畑仕事用の苗の購入やクッキング材料を商店街へ買いに出かけたり、商店街ツアーで職業見学をしたり、銭湯で入浴や近所のログハウスで遊んだり、地域に出かけてさまざまな体験や施設利用を行なっています。また、高齢者施設との交流や同系列園との交流保育、自治会主催の味噌づくりに参加するなど交流の機会も頻繁にあります。</p>
<p>Ⅳ－２ サービス内容等に関する情報提供</p>  <p>(1) 将来の利用者が関心のある事項についてわかりやすく情報を提供しているか。 (2) 利用希望者の問い合わせや見学に対応しているか。</p>	<p>①園の特徴や子どもたちの活動、行事の様子については「入園のしおり」や「どろんこ通信」など、写真の掲載により分かりやすく説明しています。園のホームページでは法人の理事長メッセージや概念図で保育理念を解説しています。デイリープログラムや子どもたちの活動の内容、年間の農業体験などを写真掲載で紹介しています。入園申請書類や年間スケジュール、献立表、「どろんこだより」や「ちきんえっくだより」など月刊の便りや各種書類をダウンロードする事ができます。</p> <p>②ホームページでは保護者専用のページを設けて、保護者会の出欠や行事への参加、子どもの写真申込みや保育時間延長の申込みなどの手続きが取れます。また、メールなどでの意見や苦情・相談を本部へ直接伝える事ができます。</p> <p>③市のホームページの保育情報欄には、待機児童数などを年2回更新しています。外部の商店街ニュースや市の情報紙などの取材を受けて、園のサービス特徴や子どもたちのさまざまな活動の様子などを提供して、広く地域に発信できています。</p> <p>④利用希望者の問合せや見学者への説明内容は園長やリーダーに限らず全職員でOJTにより共有できており、問合せには「入園のしおり」や「どろんこ通信」「どろんこ便り」などを発送するとともに見学を勧めています。できるかぎり見学者の希望の時間で子どもたちの状況に合わせて園内を案内しています。本部への問合せの場合も同様に、資料の発送と見学の案内を行なっています。</p>
<p>Ⅳ－３ ボランティア・実習の受け入れ</p>	<p>①ボランティア受入れマニュアルを整備しており、ボランティア受入れの考え方や受入れ手順を周知しています。ボランティア参加時にはオリエンテーションシートに沿って説明し、プログラムシートで活動を確認しています。また、個人情報保護に関する方針や取り扱いへの誓約の署名を受けた上で開始しています。どろんこ祭には、保護者の参加とともに地域の学生のボランティアの参加があり、終了後には参加した感想や意見をだしてもらって職員に</p>



- (1) ボランティアの受け入れや育成を積極的に行っているか。
- (2) 実習生の受け入れを適切に行っているか。

はない視点に気づきを得られています。

- ② 近隣のフリースペースを利用しているメンバーの来園による歌やアコーディオン、ハーモニカなどの演奏、および昔話や大工仕事への近隣の人の好意で行われています。祖父母世代の知恵や文化の継承活動として子どもたちを取り巻く力強いもう一つの輪といえます。保護者のボランティアや地域のボランティア受入れと同様に、受入れ手順に沿って、個人情報の保護に関する同意誓約などの実施が望まれます。
- ③ 中学生の職業体験や保育士養成中の学生および法人の保育実習の実習生受け入れがありました。実習生に関しては、ボランティア受入れと同じマニュアルを使用して、個人情報保護に関する方針や取り扱いへの誓約の署名を受けた上で、園長から当園の理念や方針を説明して実習を開始します。期間中はクラスのねらいや計画を念頭に昼礼へ参加して実習生が記録と反省を記す実習日誌の書き方指導を行なっています。しかしながら、実習生の受け入れに関する基本的な考え方や方針を全職員へ周知する機会は設けてはいません。現状、ボランティア受入れと実習生受入れについて、マニュアルおよび帳票は同一の物が使用されています。今後は、法人の保育実習取組みによる実習生の増加が予測される中、実習生受け入れマニュアルの見直しおよび、園長が実施している実習プログラムの明文化、職員への共通認識が望まれます。

評価領域V 人材育成・援助技術の向上

評価分類	評価の理由(コメント)
<p>V-1 職員の人材育成</p>  <p>(1) 保育所の理念や方針に適合した人材を育成するための取り組みを行っているか。 (2) 職員・非常勤職員の研修体制が確立しているか (3) 非常勤職員等にも日常の指導を行っているか</p>	<p>①職員採用は本部が行っており、法人の理念や方針を提示し、人材については「現状に満足せず自己の成長を常に意識している人」、「実際にやってみせるその背中であらためて教えていける人」、「より良い保育を目指して創意工夫ができる人」を掲げて募集しています。採用後は新入職員研修やOJT、系列園での実地研修などが用意されて、全職員向けには、毎年の法人内外の各種研修の受講および海外インターシップなどもあります。毎月のコンピテンシー(理想的な行動基準)の自己評価や「児童・保護者の人権チェック」での業務の振り返りにより、自身が目標設定して業務に取り組むなどの職員育成の仕組みがあり、園長やリーダーの相談体制もとり、理念に基づいた保育の実践につなげています。また、職員の研修実施の取組みについては園のホームページでも紹介しています。</p> <p>②法人内部研修は全職員に年間得上級救命救急や基礎研修、保育スキル研修、毎月の人権チェックが計画され職層別には OJT 研修やリーダー研修、園長研修などが実施されています。また、毎週行なわれている会議では、園が円滑に運営されるように、本部マネージャーによる、評価項目に従う、助言が行なわれています。また、ホームページでは保育体験の実習生の募集を行なって受入れており、園長は、保育実習体験や交流により実習生には、「保育は楽しい仕事である事」を伝えたいと考えており、実習指導ができる職員育成を課題としています。</p> <p>③新人とベテランや非常勤職員と常勤職員などシフト勤務の組み合わせは配慮して、非常勤職員にも職員ハンドブックは配布されており、昼礼や学年会議、職員会議に出席して自身のスキルへの目標および自己採点を実施しています。スキルアップシートによる園長の面談・指導がなされており、正規職員への転換の機会も就業規則に定めています。なお、新年度には新人事制度への導入される予定があり、階層別職員の姿が定められる予定です。</p>
<p>V-2 職員の技術の向上</p>  <p>(1) 職員のスキルの段階にあわせて計画的に技術の向上に取り組んでいるか。 (2) 保育士等が保育や業務の計画及び記録を通してみずからの実践を振り返り、改善に努める仕組みがあるか。 (3) 保育士等の自己評価を踏まえ、保育所としての自己評価を行っているか。</p>	<p>①職員会議での月間指導の振り返りに基づいて年度末には今年度の振り返りを行ない次年度の目標をたて保育課程を策定する策定会議を2回開催しています。全職員からの工夫や実践事例を踏まえた提案を集めて次年度の組織としてのサービス水準の向上を目指す策定会議には、園運営を援助する役割で本部マネージャーが出席しています。</p> <p>②保育士は週間指導計画用紙において、ねらいに照らして保育の実践を学年会議で振り返り、省察欄に記述して次週の計画につなげます。3歳児未満の子どもの個別計画の振り返りは、ねらいに対して結果だけを見ることなく、子どもの状況および取組意欲や過程に着目して省察して次月の指導計画に反映しています。半期ごとの職員個別のスキルアップシートは、目標、業務遂行、評価実施の流れで自己評価を項目ごとに行い、保育園・保育業界・子育てを良くする為に行動した実績を保育士本人が記述する欄を設けて時期の目標立てを行なっています。</p>
<p>V-3 職員のモチベーションの維持</p>	<p>①職員ハンドブックには法人の理念、特色から、保育士としての基本スキルが明記されて当法人職員としての期待水準が明文化されています。「保育士行動着重点集」では職層別のコンピテンシーのチェックにより、自身の目標設定を行なっています。職員会議での発言および日常的にはメールや口頭</p>



(1) 本人の適性・経験・能力に応じた役割を与え、やりがいや満足度を高めているか。

で園長や本部あてに提案や意見を述べる事を奨励されています。年度末の策定会議は特に、今年度の省察や次年度への改善提案を行ない事業計画や保育課程を策定しています。園長は半期ごとにスキルアップシートで職員自己業績を評価した職員と面談を行なって、職員の業務への満足度や職場への要望の把握に努めています。

- ② 法人は毎年、職員の外部研修受講アンケートを実施して希望の研修への参加を精査しています。他園に実地研修や実践交流保育を実施しています。保育士年間ハイパフォーマンスコンテストを開催・表彰し、保育士年間MVP受賞者には研修旅行が贈られています。海外インターシップ研修生の社内公募など、職員のモチベーションの維持・向上を図っています。非常勤職員には正規職員と同様の研修にWEBでの受講を可能として、外部研修についても、目的と意欲が評価されれば参加でき、報告書の提出や職員会議で報告発表を行なっています。このような表彰、研修制度が日常的な保育に生かされることが望まれます。また、園長は日常的に、職員の保育への工夫を評価する機会だけでなく、懇親会などの交流の機会を設けており、職員のモチベーションの維持や高まりがより期待されます。

評価領域VI 経営管理

評価分類	評価の理由(コメント)
<p>VI-1 経営における社会的責任</p>  <p>(1) 事業者として守るべき、法・規範・倫理等を周知し実行しているか。 (2) サービスの質を維持しつつゴミ減量化・リサイクル・省エネルギーの促進、緑化の推進など環境に配慮しているか。</p>	<p>①職員が守るべき法規範・倫理、服務規程などは、就業規則に明示され、入社時に職員研修を行い周知しています。全職員が所持している「スタッフハンドブック」にも守るべき規範、行動指針、児童・保護者の人権のためのガイドラインなどを記載して、全職員は毎月の職員会議で理解を深めています。全職員は毎月、「児童・保護者人権チェック」を用いて自己評価を行い、子どもたちや保護者への適正な対応に努めています。個人情報保護についてはプライバシーポリシーをホームページに公開し、児童・保護者などの個人情報を適正に利用し管理するとともに、正確性・機密性の保持に努めることを表明しています。</p> <p>②経営・運営状況については、毎年の法人の全社員研修で説明しており、法人としてWEBでも公表しています。施設での不適切な事例が出た時は園長会議で共有し、全社員に発信して職員のモラルの向上を図っています。</p> <p>③在園家庭の地域交流および地域子育て支援を目的とした、園前で実施の子ども用品の無人無料フリーマーケットの「勝手籠かご」は、着ない服を勝手に年齢別籠に入れて、必要な服を勝手に籠から貰う仕組みで、リサイクル推進活動になっています。ゴミの減量化の取組みとしては、園長会議で給食予算と残食を点検し、各園で大切に食べきる事に配慮しています。省エネルギーの取組みとしてはLED電球の利用や、緑化も兼ねた夏場のグリーンカーテンの取組みなど、できる事から取り組んでいます。今年度の事業計画には「月1回環境会議を行ない、子どもの成長、季節にあった園庭・室内環境を考える」と明文化して実施しています。</p>
<p>VI-2 施設長のリーダーシップ・主任の役割等</p>  <p>(1) 保育所の理念や基本方針等について職員に周知されているか。 (2) 重要な意思決定にあたり、関係職員・保護者等から情報・意見を集めたり説明しているか。 (3) 主任クラスの職員がスーパーバイザーとしての役割を果たしているか。</p>	<p>①法人の理念や方針に基づいて、当園の基本方針を「こどもの主体性を引き出す環境、こどもが自ら体験し学び成長する環境」を重視し、3ヵ年計画の初年度としては、保育士が保育にやりがいを感じ、学ぶ楽しさを知る事に取り組む1年としています。事業計画は職員に配布して、職員会議で確認・周知しています。職員が事業計画をより深く理解しているか確認するために、年2回の園長の職員面談では「事業計画に沿って何をしたいか」を聞いて話し合っています。</p> <p>②重要な意思決定などは保護者懇談会(保護者に都合を聞き取り参加率の高い週末の夕方に開催)で説明しています。懇談会では意見交換や良いコミュニケーションが図られます。保護者代表3人と法人から1名、外部委員(税理士)も出席する運営委員会も開催しています。保護者と共通認識がもてるよう行事や個人面談、お迎え時にも会話や相談など頻繁なコミュニケーションにより信頼関係づくりに努めています。</p> <p>③主任職に替わる乳児担当リーダーと幼児担当リーダーを任命してスーパーバイザー育成も含むリーダー養成研修に参加しています。リーダーはそれぞれ乳児と幼児の経験も長く昼礼や学年会議や職員会議での指導計画作成および帳票類の確認処理など、園長と共にリーダーは職員の業務状況の把握や心の持ち方を調整する仕組みづくりに着手しています。また、職員の研修や体調に配慮してシフト組みや調整を行なっています。</p>
<p>VI-3 効率的な運営</p>	<p>①社会環境や法制度、保護者の要望の変化する中での園の運営に関連する情報は、行政や本部、関係機関や園の専門職から入手して、園の運営に活かしています。園の職員が保育に専念できるようサービスおよび職員の質の確保については、本部のバックアップ体制がとられています。職員の研修</p>



(1) 外部環境の変化等に対応し、理念や基本方針を実現するための取り組みを行っているか。

(2) 保育所運営に関して、中長期的な計画や目標を策定しているか。

や育成プログラムの作成や見直し、第三者評価の3年に1度の受審、予算・実績管理および各種業務システムサポートがあります。また、本部職員による園運営への助言や子どもたちの活動や体験および園バスの運行管理などの協力もあります。

②法人は1月の経営会議で次年度の中長期計画を立てて、新年度にはISO 9001を各園および運営部で導入予定をして本部が主導で各園への説明など準備が進められています。当園の事業計画では3年間の中期計画の1年目をスタートしています。次年度に向けて2名のリーダーを任命して体制を整えています。園の運営に外部の専門家の意見を取り入れる為に、運営委員会への出席、第三者評価の受審、保育園間の交流などを進めています。

利用者家族アンケート 結果概要

実施期間	2015年11月20日 ~ 2015年12月9日
実施方法	アンケート方式 保育園から全園児の保護者に直接配布(手渡し) 各保護者より、返信用封筒で評価機関宛てに無記名で返送
回収率	54枚配布 27枚回収 50%

※表中の「満足度」は、「満足」「どちらかといえば満足」の回答を合計した数値です
※同一家族で複数名が園に在籍している場合は、下の子どものクラスについての回答です

◆結果について◆

- 保育園の総合満足度は、「満足」・「どちらかといえば満足」を合わせて95%と高い評価になっています。
- 園児の年齢構成は、1歳児と2歳児で54%と過半となっています。
- 問1「保育目標・方針を知っているか」に対して、「よく知っている」と「まあ知っている」を合わせて94%であり、利用者には周知されています。また、その内容に回答者全員の方が賛同しています。
- 問2では、問1の裏づけとなるような96%の満足となっているものが、「園の目標や方針についての説明」です。問2の中で不満が13%とやや高いものが「入園前の見学や説明、園からの情報提供」および「費用やきまりに関する説明」となっています。
- 問3の「年間の保育や行事についての説明」も、87%が満足と回答しています。
- 問4では、「子どもが戸外遊びを十分にしている」、「自然に触れたり地域に関わるなどの園外活動」のいずれもが100%の満足度を示しています。一方、「おむつはずしはお子さんの成長にあわせて柔軟に進めているか」については、75%の満足度とやや低めになっています。また、「保育中にあったケガに関する保護者への説明やその後の対応」は不満が17%と高くなっています。
- 問5では、96%の満足として「お子さんが落ち着いて過ごせる雰囲気になっている」とありますが、36%が「外部からの不審者侵入を防ぐ対策」に不満をもっています。
- 問6の「園の行事の開催日や時間帯への配慮」、「残業などで迎えが遅くなる場合の対応」については、いずれも90%程度の満足度となっていますが、「送り迎えの際のお子さへの様子に関する情報交換」や「お子さんに関する重要な情報の連絡体制」についてはそれぞれ28%、24%の不満となっています。
- 問7で、「お子さんが大切にされているか」、「お子さんが保育園生活を楽しんでいるか」については、95%を越える満足がありました。特に「満足」されていることを記載されているご意見もありました。「意見や要望への対応」への不満が17%となっています。

「まめどくれっしゅ」利用者家族アンケート

■ 実施期間 2015年11月20日～2015年12月9日

■ 回収率 50%（回収27枚/配布54枚）

■はじめに、この保育園に通っているお子さんについてうかがいます。

（この保育園に2人以上通っている場合は、下のお子さんについてお答えください。）

お子さんは何歳児クラスですか。(○は1つだけ)	0歳児クラス	1歳児クラス	2歳児クラス	3歳児クラス	4歳児クラス	5歳児クラス	無回答	合計
	3	4	4	8	5	3	0	27

調査結果

■施設の基本理念や基本方針について

問1

あなたは、この園の保育目標・保育方針をご存知ですか(○は1つだけ)	よく知っている	まあ知っている	どちらともいえない	あまり知らない	まったく知らない	無回答	合計
	4	21	1	1	0	0	27

↓ 問1で【「1 よく知っている」または「2 まあ知っている」とお答えの方へ】

付問1

あなたは、その保育目標や保育方針は賛同できるものだと思いますか。(○は1つだけ)	賛同できる	まあ賛同できる	どちらともいえない	あまり賛同できない	賛同できない	無回答	合計
	14	11	0	0	0	0	25

■施設のサービス内容について

問2 お子さんが入園する時の状況についてうかがいます。それぞれの項目について満足度をお答えください。(〇はそれぞれ1つずつ。その他を選択した場合は、その理由をご記入ください。)

	満足	どちらかといえは満足	どちらかといえは不満	不満	その他	無回答	合計
見学の受け入れについては	6	9	0	0	12	0	27
	その他:開園前なのでなかった。見学していない(4名)。新規園だったのでバタバタでした。いったことがない。初年度だったので。兄弟がおり見学していない。新設の為見学がなかった(2名)。見学を行ってないので。系列のどろんこを見学して、満足。						
入園前の見学や説明など、園からの情報提供については	5	11	5	1	5	0	27
	その他:見学していない。新設だった為不十分な点が多かった。初年度入園だった為対象外。初年度でやや情報不足。兄弟がおり不要だった。情報は少なかった。間接的に調べた。						
園の目標や方針についての説明には	7	18	2	0	0	0	27
	その他:入園時のみの為理解不足だった。						
入園時の面接などで、お子さんの様子や生育歴などを聞く対応については	7	13	3	0	4	0	27
	その他:入園時に面接実施無し。面接をしたことがない。面接はなかった(2名)。						
保育園での1日の過ごし方についての説明には	8	16	2	1	0	0	27
	その他:新設の為あまり無し。						
費用やきまりに関する説明については(入園後に食い違いがなかったかを含めて)	7	13	4	2	1	0	27
	その他:入園後課外授業が決まったのでその食い違いはあったかもしれません。入園後の説明のほうが多かった。						
合計	満足	どちらかといえは満足	どちらかといえは不満	不満	その他	無回答	合計
	40	80	16	4	22	0	162

問3 保育園に関する年間の計画についてうかがいます。それぞれの項目について満足度をお答えください。(〇はそれぞれ1つずつ。その他を選択した場合は、その理由をご記入ください。)

	満足	どちらかといえは満足	どちらかといえは不満	不満	その他	無回答	合計
年間の保育や行事についての説明には	6	13	4	2	1	1	27
	その他:行事の通知が遅いと感じる事が時折ある。予定がころころと変わることが多い。						
年間の保育や行事に、保護者の要望が活かされているかについては	5	13	6	1	2	0	27
	その他:どちらとも言えない。今年入園したばかりの為不明。良く分からない。不明。						
合計	満足	どちらかといえは満足	どちらかといえは不満	不満	その他	無回答	合計
	11	26	10	3	3	1	54

問4 日常の保育内容についてうかがいます。それぞれの項目について満足度をお答えください。
(○はそれぞれ1つずつ。その他を選択した場合は、その理由をご記入ください。)

「遊び」について	満足	どちらかといえは満足	どちらかといえは不満	不満	その他	無回答	合計
クラスの活動や遊びについては (お子さんが満足しているかなど)	17	9	1	0	0	0	27
	その他:						
子どもが戸外遊びを十分にしているかについては	19	7	1	0	0	0	27
	その他:						
園のおもちゃ教材については (お子さんが自由に使えるように置いてあるか、年齢にふさわしいかなど)	11	8	2	0	6	0	27
	その他:よくわからない(2名)。理解できていない。教材についてあまり知らない。園のおもちゃを知らない。不明。						
自然に触れたり地域に関わるなどの、園外活動については	21	6	0	0	0	0	27
	その他:						
遊びを通じて友だちや保育者との関わりが十分もてているかについては	16	8	1	0	2	0	27
	その他:様子(人との関わりについては)は良く分からないあまり説明されない。家で先生の話があまり出ない。						
遊びを通じたお子さんの健康づくりへの取り組みについては	18	8	0	0	1	0	27
	その他:よくわからない。						
合計	満足	どちらかといえは満足	どちらかといえは不満	不満	その他	無回答	合計
	102	46	5	0	9	0	162

「生活」について	満足	どちらかといえは満足	どちらかといえは不満	不満	その他	無回答	合計
給食の献立内容については	19	7	0	0	0	1	27
	その他:もう少し量があってもいいかも。						
お子さんが給食を楽しんでいるかについては	17	9	0	0	0	1	27
	その他:小食の子だったが協力的で最近食べるようになってきた。						
基本的な生活習慣(衣服の脱着、手洗いなど)の自立に向けての取り組みについては	14	7	3	1	1	1	27
	その他:外遊びがない日に着替ええないのは、なぜですか?						
昼寝や休憩がお子さんの状況に応じて対応されているかなどについては	11	9	4	0	2	1	27
	その他:分からない。運動会後年長は一律でお昼寝無となるが体力に合わせてほしい。						
おむつはずしは、家庭と協力し、お子さんの成長に合わせて柔軟に進めているかについては	13	8	0	1	3	2	27
	その他:入園時からおむつはずれていました。おむつはずれてからの入園なので不明。入園時にはずれていた。						
お子さんの体調への気配りについては	13	10	3	0	0	1	27
	その他:						
保育中にあったケガに関する保護者への説明やその後の対応には	5	13	7	1	0	1	27
	その他:						
合計	満足	どちらかといえは満足	どちらかといえは不満	不満	その他	無回答	合計
	92	63	17	3	6	8	189

問5 保育園の快適さや安全対策などについてうかがいます。それぞれの項目について満足度をお答えください。（○はそれぞれ1つずつ。その他を選択した場合は、その理由をご記入ください。）

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	合計
施設整備については	5	16	5	0	0	1	27
	その他: 昨年窓ガラスのヒビが放置されていた(今は修復済)。						
お子さんが落ち着いて過ごせる雰囲気になっているかについては	9	12	5	0	0	1	27
	その他:						
外部からの不審者侵入を防ぐ対策については	9	12	5	0	0	1	27
	その他: 保護者の友人が一人で来た時も鍵をあけていた。「私お帰りなさいって言われちゃった～」と笑って話していたが、それで良いのか?						
感染症の発生状況や注意事項などの情報提供については	6	18	1	0	1	1	27
	その他: まだわからない。						
合計	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	合計
	29	58	16	0	1	4	108

問6 園と保護者との連携・交流についてうかがいます。それぞれの項目について満足度をお答えください。（○はそれぞれ1つずつ。その他を選択した場合は、その理由をご記入ください。）

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	合計
保護者懇談会や個別面談などによる話し合いの機会については	4	12	8	1	0	2	27
	その他: 時間がとれないので、面談をしていない。保護者会の内容が薄い映像なども欲しい。						
園だよりや掲示などによる、園の様子や行事に関する情報提供については	4	13	6	1	1	2	27
	その他: 年間予定と行事日程がころころ変わる。遅いと感じる時がある。						
園の行事の開催日や時間帯への配慮については	7	13	6	0	0	1	27
	その他:						
送り迎えの際、お子さんの様子に関する情報交換については	5	16	4	0	1	1	27
	その他: 対応頂く先生によって情報量のバラつきがひどい。ここを売りにしている園だがある時とない時があったり周りに他の保護者がいるのにプライベートな内容を話されたりするのは困る。						
お子さんに関する重要な情報の連絡体制については	7	12	6	0	1	1	27
	その他: 分からない。						
保護者からの相談事への対応には	5	14	4	0	1	3	27
	その他: 相談しない。相談しにくい雰囲気。						
開所時間内であれば柔軟に対応してくれるなど、残業などで迎えが遅くなる場合の対応には	15	9	0	0	2	1	27
	その他: 遅れたことがない。あまりその様な機会はない。						
合計	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	合計
	47	89	34	2	6	11	189

問7 職員の対応についてうかがいます。それぞれの項目について満足度をお答えください。
 (〇はそれぞれ1つずつ。その他を選択した場合は、その理由をご記入ください。)

	満足	どちらかといえ ば満足	どちらかといえ ば不満	不満	その他	無回答	合計
あなたのお子さんが大切にされているかについては	15	8	2	0	1	1	27
	その他:						
あなたのお子さんが保育園生活を楽しんでいるかについては	15	9	2	0	0	1	27
	その他:						
アレルギーのあるお子さんや障害のあるお子さんへの配慮については	9	8	1	0	8	1	27
	その他: 自分の子が該当しないので、分からない。						
話しやすい雰囲気、態度であるかどうかについては	11	12	2	0	1	1	27
	その他: 人による。						
意見や要望への対応については	5	19	0	0	2	1	27
	その他: ケースバイケース。入園したばかりなので不明。						
合計	満足	どちらかといえ ば満足	どちらかといえ ば不満	不満	その他	無回答	合計
	55	56	7	0	12	5	135

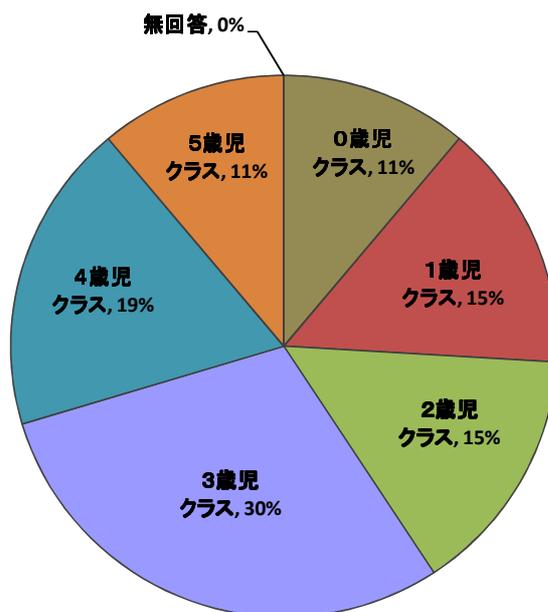
問8 保育園を総合的に評価すると、どの程度満足していますか。

	満足	どちらかといえ ば満足	どちらかといえ ば不満	不満	無回答	合計
総合満足度は	8	17	1	0	1	27

「まめどくれっしゅ」利用者家族アンケート(グラフ)(案)

- 実施期間 2015年11月20日～2015年12月9日
- 回収率 50% (回収27枚/配布54枚)

お子さんは何歳児クラスですか。 (○は1つだけ)	0歳児 クラス	1歳児 クラス	2歳児 クラス	3歳児 クラス	4歳児 クラス	5歳児 クラス	無回答	合計
		11%	15%	15%	30%	19%	11%	0%



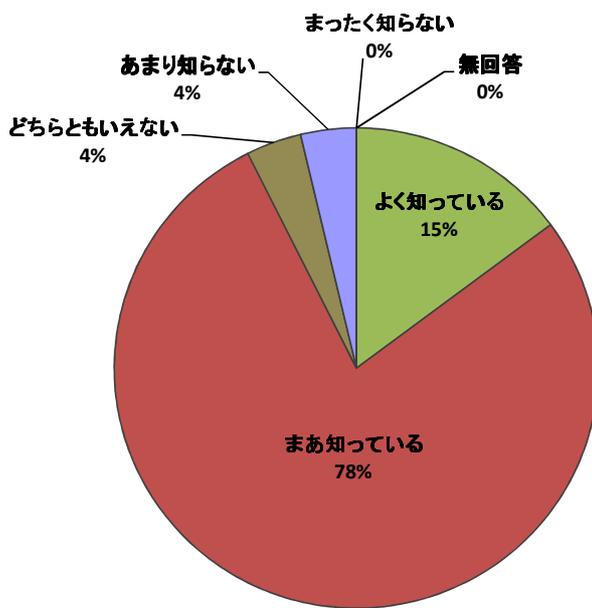
集計結果

■施設の基本理念や基本方針について

問1

あなたは、この園の保育目標・保育方針をご存知ですか(○は1つだけ)	よく知っている	まあ知っている	どちらともいえない	あまり知らない	まったく知らない	無回答	合計
	15%	78%	4%	4%	0%	0%	100.0%

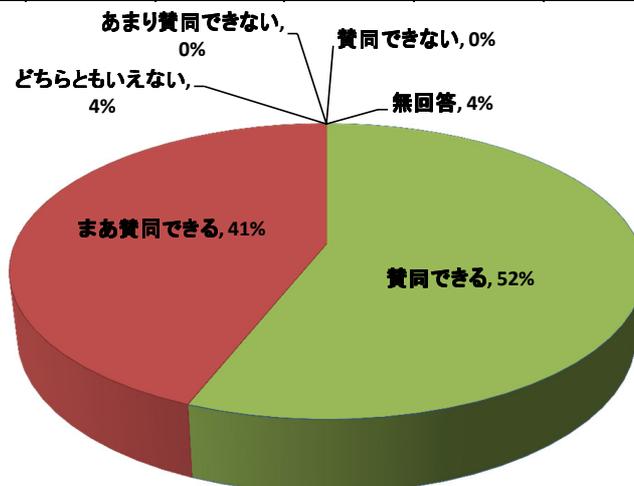
保育園の保育目標・保育方針について



↓ 問1で【「1 よく知っている」または「2 まあ知っている」とお答えの方へ】

付問1

あなたは、その保育目標や保育方針は賛同できるものだと思いますか。(○は1つだけ)	賛同できる	まあ賛同できる	どちらともいえない	あまり賛同できない	賛同できない	無回答	合計
	56%	44%	0%	0%	0%	0%	100.0%

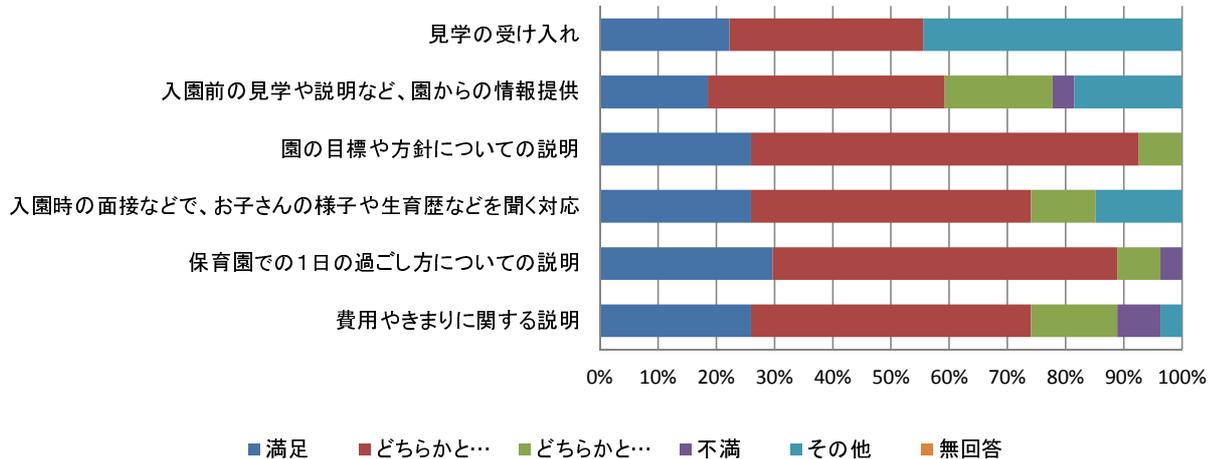


■施設のサービス内容について

問2 お子さんが入園する時の状況についてうかがいます。

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	合計
見学の受け入れ	22.2%	33.3%	0.0%	0.0%	44.4%	0.0%	100.0%
入園前の見学や説明など、園からの情報提供	18.5%	40.7%	18.5%	3.7%	18.5%	0.0%	100.0%
園の目標や方針についての説明	25.9%	66.7%	7.4%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
入園時の面接などで、お子さんの様子や生育歴などを聞く対応	25.9%	48.1%	11.1%	0.0%	14.8%	0.0%	100.0%
保育園での1日の過ごし方についての説明	29.6%	59.3%	7.4%	3.7%	0.0%	0.0%	100.0%
費用やきまりに関する説明	25.9%	48.1%	14.8%	7.4%	3.7%	0.0%	100.0%
合計	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	合計
	24.7%	49.4%	9.9%	2.5%	13.6%	0.0%	100.0%

入園時の状況



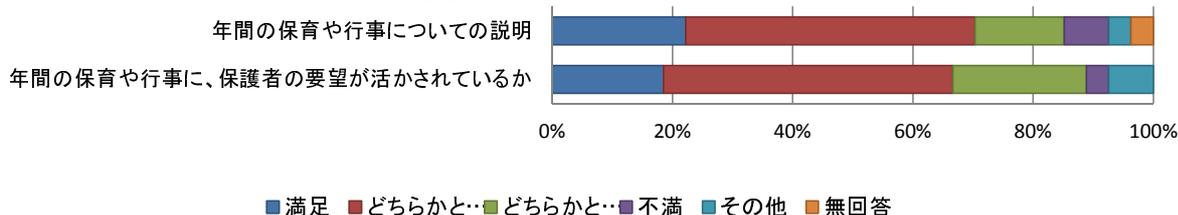
【その他】

見学の受け入れ	その他:開園前なのでなかった。見学していない(4名)。新規園だったのでバタバタでした。いったことがない。初年度だったので。兄弟がおり見学していない。新設の為見学がなかった(2名)。見学を行ってないので。系列のどろんこを見学して、満足。
入園前の見学や説明など、園からの情報提供	その他:見学していない。新設だった為不十分な点が多かった。初年度入園だった為対象外。初年度でやや情報不足。兄弟がおり不要だった。情報は少なかった。間接的に調べた。
園の目標や方針についての説明	その他:入園時のみの為理解不足だった。
入園時の面接などで、お子さんの様子や生育歴などを聞く対応	その他:入園時に面接実施無し。面接をしたことがない。面接はなかった(2名)。
保育園での1日の過ごし方についての説明	その他:新設の為あまり無し。
費用やきまりに関する説明については(入園後に食い違いがなかったかを含めて)	その他:入園後課外授業が決まったのでその食い違いはあったかもしれませんが。入園後の説明のほうが多かった。

問3 保育園に関する年間の計画についてうかがいます。

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	合計
年間の保育や行事についての説明	22.2%	48.1%	14.8%	7.4%	3.7%	3.7%	100.0%
年間の保育や行事に、保護者の要望が活かされているか	18.5%	48.1%	22.2%	3.7%	7.4%	0.0%	100.0%
合計	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	合計
	20.4%	48.1%	18.5%	5.6%	5.6%	1.9%	100.0%

年間の計画について



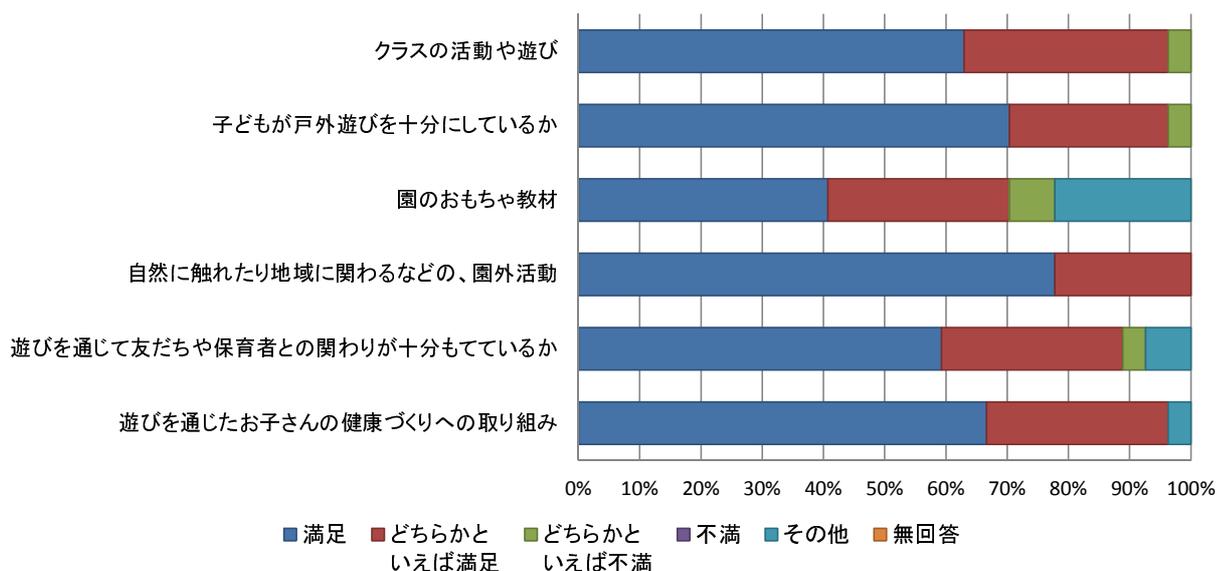
【その他】

年間の保育や行事についての説明には	その他: 行事の通知が遅いと感ずることが時折ある。予定がころころと変わることが多い。
年間の保育や行事に、保護者の要望が活かされているか	その他: どちらとも言えない。今年入園したばかりの為不明。良く分からない。不明。

問4 日常の保育内容についてうかがいます。

「遊び」について	満足	どちらかといえは満足	どちらかといえは不満	不満	その他	無回答	合計
クラスの活動や遊び	63.0%	33.3%	3.7%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
子どもが戸外遊びを十分にしているか	70.4%	25.9%	3.7%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
園のおもちゃ教材	40.7%	29.6%	7.4%	0.0%	22.2%	0.0%	100.0%
自然に触れたり地域に関わるなどの、園外活動	77.8%	22.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
遊びを通じて友だちや保育者との関わりが十分もてているか	59.3%	29.6%	3.7%	0.0%	7.4%	0.0%	100.0%
遊びを通じたお子さんの健康づくりへの取り組み	66.7%	29.6%	0.0%	0.0%	3.7%	0.0%	100.0%
合計	満足	どちらかといえは満足	どちらかといえは不満	不満	その他	無回答	合計
	63.0%	28.4%	3.1%	0.0%	5.6%	0.0%	100.0%

日常の保育内容「遊び」について

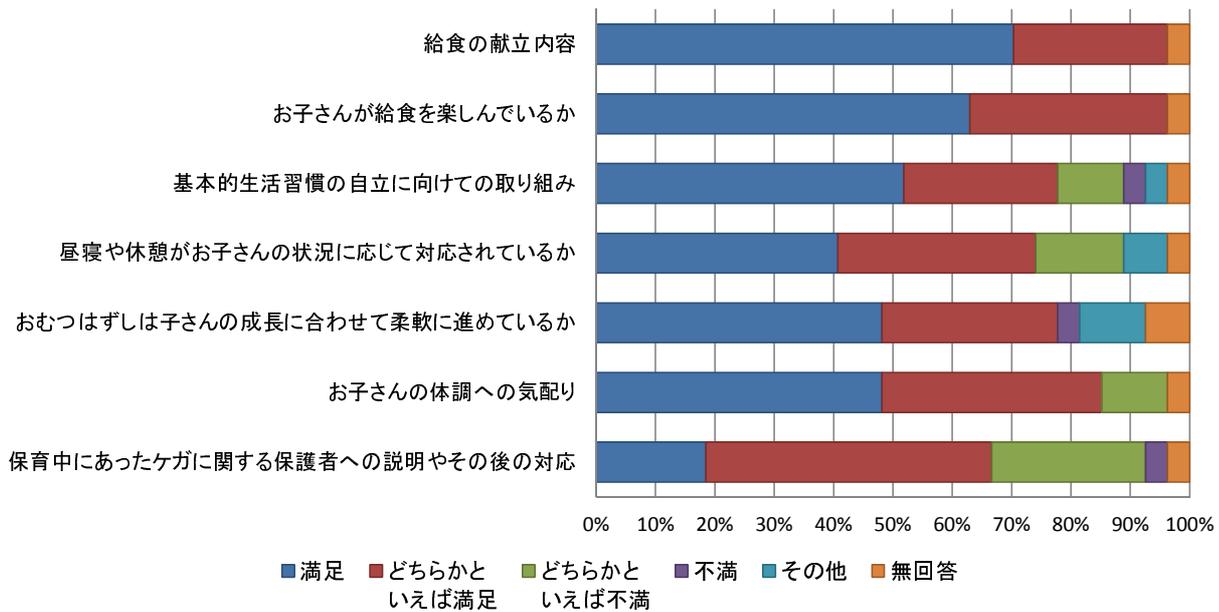


【その他】

園のおもちゃや教材	その他: よくわからない(2名)。理解できていない。教材についてあまり知らない。園のおもちゃを知らない。不明。
遊びを通じて友達や保育者との関わりが十分もてているか	その他: 様子(人との関わりについて)は良く分からないあまり説明されない。家で先生の話があまり出ない。
遊びを通じたお子さんの健康づくりへの取り組み	その他: よくわからない。

「生活」について	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	合計
給食の献立内容	70.4%	25.9%	0.0%	0.0%	0.0%	3.7%	100.0%
お子さんが給食を楽しんでいるか	63.0%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	3.7%	100.0%
基本的な生活習慣の自立に向けての取り組み	51.9%	25.9%	11.1%	3.7%	3.7%	3.7%	100.0%
昼寝や休憩がお子さんの状況に応じて対応されているか	40.7%	33.3%	14.8%	0.0%	7.4%	3.7%	100.0%
おむつはずしは子さんの成長に合わせて柔軟に進めているか	48.1%	29.6%	0.0%	3.7%	11.1%	7.4%	100.0%
お子さんの体調への気配り	48.1%	37.0%	11.1%	0.0%	0.0%	3.7%	100.0%
保育中にあったケガに関する保護者への説明やその後の対応	18.5%	48.1%	25.9%	3.7%	0.0%	3.7%	100.0%
合計	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	合計
	48.7%	33.3%	9.0%	1.6%	3.2%	4.2%	100.0%

日常の保育内容「生活」について



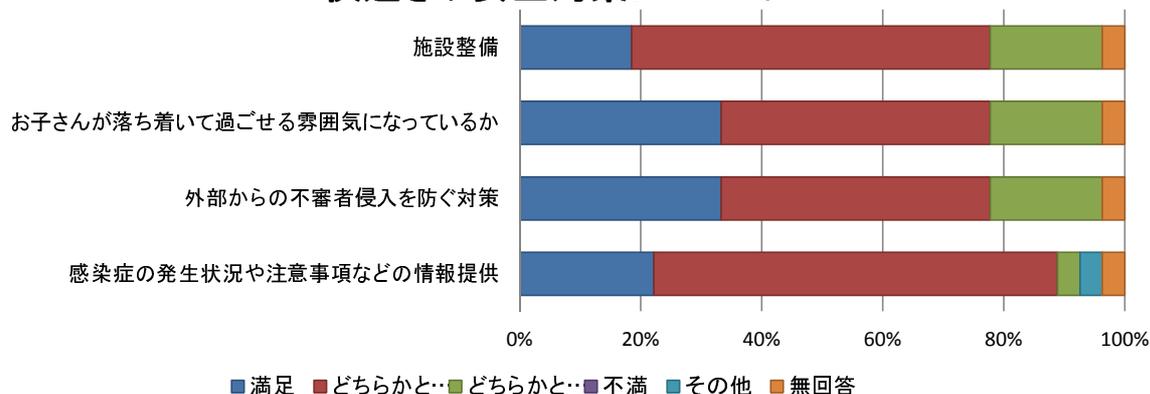
【その他】

給食の献立内容については	その他:もう少し量があってもいいかも。
お子さんが給食を楽しんでいるか	その他:小食の子だったが協力的で最近食べるようになってきた。
基本的な生活習慣の自立に向けての取り組み	その他:外遊びがない日に着替えないのは、なぜですか？
昼寝や休憩がお子さんの状況に応じて対応されているかなどについては	その他:分からない。運動会後年長は一律でお昼寝無となるが体力に合わせてほしい。
おむつはずしは、家庭と協力し、お子さんの成長に合わせて柔軟に進めているか	その他:入園時からおむつはずしてました。おむつはずれてからの入園なので不明。

問5 保育園の快適さや安全対策などについてうかがいます。

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	合計
施設整備	18.5%	59.3%	18.5%	0.0%	0.0%	3.7%	100.0%
お子さんが落ち着いて過ごせる雰囲気になっているか	33.3%	44.4%	18.5%	0.0%	0.0%	3.7%	100.0%
外部からの不審者侵入を防ぐ対策	33.3%	44.4%	18.5%	0.0%	0.0%	3.7%	100.0%
感染症の発生状況や注意事項などの情報提供	22.2%	66.7%	3.7%	0.0%	3.7%	3.7%	100.0%
合計	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	合計
	26.9%	53.7%	14.8%	0.0%	0.9%	3.7%	100.0%

快適さや安全対策について



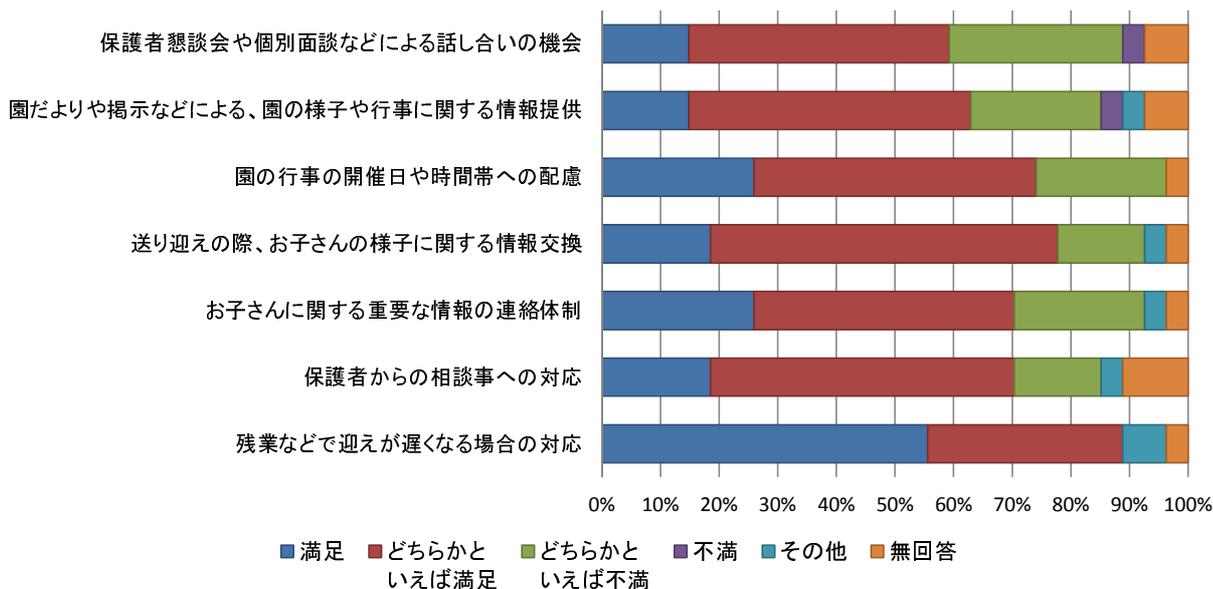
【その他】

施設設備については	その他: 昨年窓ガラスのヒビが放置されていた(今は修復済)。
感染症の発生状況や注意事項などの情報提供	その他: まだわからない。

問6 園と保護者との連携・交流についてうかがいます。

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	合計
保護者懇談会や個別面談などによる話し合いの機会	14.8%	44.4%	29.6%	3.7%	0.0%	7.4%	100.0%
園だよりや掲示などによる、園の様子や行事に関する情報提供	14.8%	48.1%	22.2%	3.7%	3.7%	7.4%	100.0%
園の行事の開催日や時間帯への配慮	25.9%	48.1%	22.2%	0.0%	0.0%	3.7%	100.0%
送り迎えの際、お子さんの様子に関する情報交換	18.5%	59.3%	14.8%	0.0%	3.7%	3.7%	100.0%
お子さんに関する重要な情報の連絡体制	25.9%	44.4%	22.2%	0.0%	3.7%	3.7%	100.0%
保護者からの相談事への対応	18.5%	51.9%	14.8%	0.0%	3.7%	11.1%	100.0%
残業などで迎えが遅くなる場合の対応	55.6%	33.3%	0.0%	0.0%	7.4%	3.7%	100.0%
合計	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	合計
	24.9%	47.1%	18.0%	1.1%	3.2%	5.8%	100.0%

園と保護者の連携・交流について



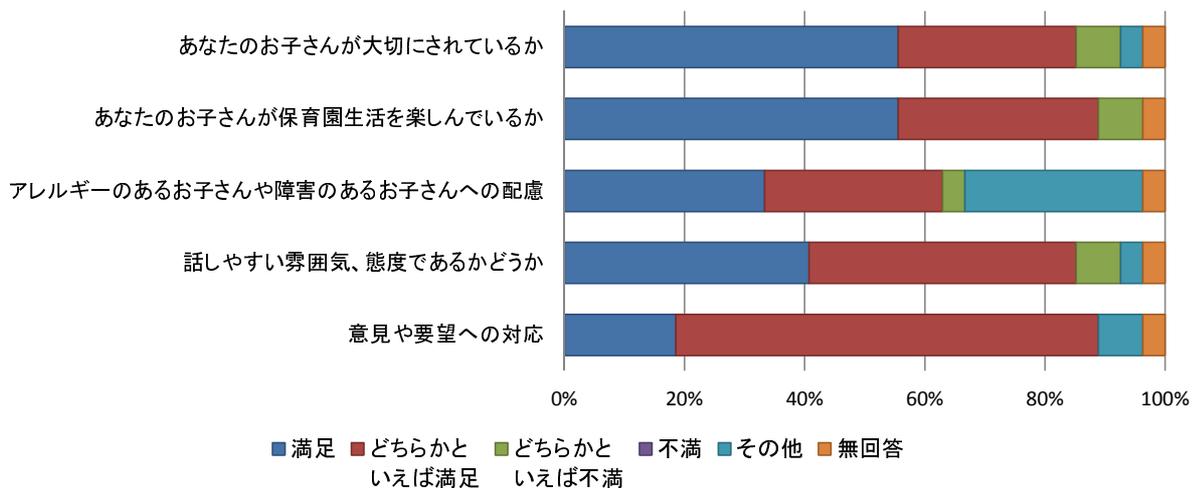
【その他】

保護者懇談会や個別面談などによる話し合いの機会	その他: 時間がとれないので、面談をしていない。保護者会の内容が薄い映像なども欲しい。
園だよりや掲示などによる、園の様子や行事に関する情報提供	その他: 年間予定と行事日程がころころ変わる。遅いと感じる時がある。
送り迎えの際、お子さんの様子に関する情報交換	その他: 対応頂く先生によって情報量のバラつきがひどい。ここを売りにしている園だがある時とない時があったり周りに他の保護者がいるのにプライベートな内容を話されたりするのは困る。
お子さんに関する重要な情報の連絡体制について	その他: 分からない。
保護者からの相談事への対応	その他: 相談しない。相談しにくい雰囲気。
残業などで迎えが遅くなる場合の対応	その他: 遅れたことがない。あまりそのような機会はない。

問7 職員の対応についてうかがいます。

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	合計
あなたのお子さんが大切にされているか	55.6%	29.6%	7.4%	0.0%	3.7%	3.7%	100.0%
あなたのお子さんが保育園生活を楽んでいるか	55.6%	33.3%	7.4%	0.0%	0.0%	3.7%	100.0%
アレルギーのあるお子さんや障害のあるお子さんへの配慮	33.3%	29.6%	3.7%	0.0%	29.6%	3.7%	100.0%
話しやすい雰囲気、態度であるかどうか	40.7%	44.4%	7.4%	0.0%	3.7%	3.7%	100.0%
意見や要望への対応	18.5%	70.4%	0.0%	0.0%	7.4%	3.7%	100.0%
合計	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	合計
	40.7%	41.5%	5.2%	0.0%	8.9%	3.7%	100.0%

職員の対応について

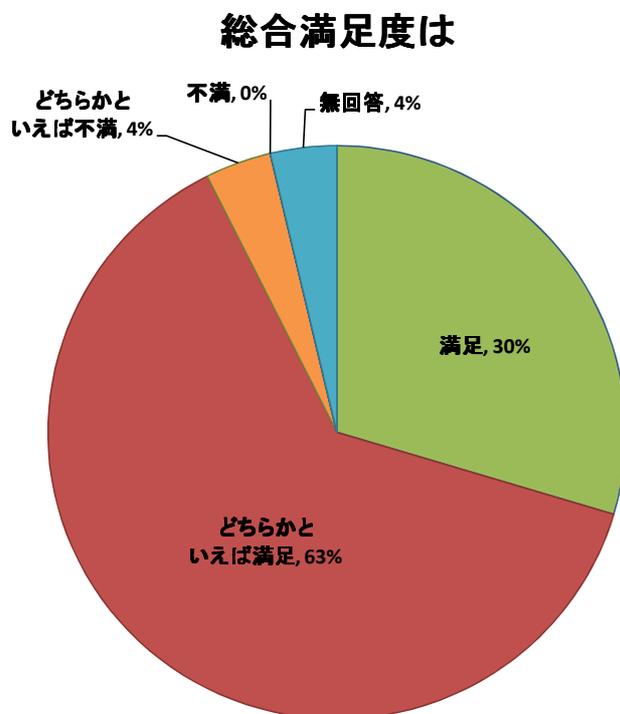


【その他】

アレルギーのあるお子さんや障害のあるお子さんへの配慮	その他: 自分の子が該当しないので、分からない。
話しやすい雰囲気、態度であるかどうかについて	その他: 人による。
意見や要望への対応については	その他: ケースバイケース。入園したばかりなので不明。

問8 保育園を総合的に評価すると、どの程度満足していますか。

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	無回答	合計
総合満足度は	30%	63%	4%	0%	4%	100.0%



以上

利用者本人調査

■調査対象

園全体の在籍数： 54名

0歳児クラス： 3名 1歳児クラス： 8名 2歳児クラス： 10名

3歳児クラス： 11名 4歳児クラス： 11名 5歳児クラス： 11名

■調査概要

《0歳児・1歳児クラス11人》

年間指導計画の4期にはいり0歳児3名も歩行ができる子や伝い歩きで動きが活発になり、1歳児と同じ空間で過ごす時間が増えています。0歳児の保育室に入る時、保育士、看護師など職員は手を洗い感染症等に気を付けています。保育室はカーペット敷きのスペースがあり、パーテーションで食事と遊び、午睡のスペースが仕切られており、沐浴室もトイレの配置も、保育士の動線を考えて使い勝手がよさそうな配置でした。

午前中、体調不良で公園遊びに行くのを止めて保育室で遊ぶ子どもが、保育士の膝を独占し絵本を読んでもらい、トイレットペーパーの芯で作った蛇を引っばって歩き、保育士の掛け声に笑顔で答えていました。机の玩具に集中して遊ぶ子どももいて、非常にゆったりとした空気が流れていました。

11時過ぎ、まだ幼児が公園遊びから帰ってこない時間でしたが、保育士室では子どもたちが順に座り、テーブルを囲み食事の用意が始まっていました。保育士が遊びの時とは違うエプロンをつけて準備を始め、子どもたちが目で追っています。温かく美味しい食事が提供され、保育士の声掛けで「いただきます」で食事が始まると、テーブルのあちらこちらで楽しい会話が弾んでいました。自分でスプーンを使って上手に食べる子どもや途中から手づかみの子どももいました。

食事の途中で寝てしまう子どもは食事コーナーとは離れた保育室のコーナーに敷いた寝具で寝かせて、服薬が必要な子どもには看護師が服薬の介助をしていました。月齢に合わせた歯磨き指導を行っています。職員は、アイコンタクトや小声で打ちあわせ業務を進めており、職員の連携の良さも感じられました。

《2歳児・3歳児・4歳児・5歳児クラス》

【散歩と公園遊び】

3、4、5歳児は一緒に散歩に出かけています。天気のいい日は9時に散歩に出かけるのが日課となっているので、玄関に集まって並び、3歳児は4歳児や5歳児と手を繋いで出かける準備はとてもスムーズでした。途中、おしゃべりをしながら歩き列が途切れると小走りで追いつく時にも繋いだ手は離さず、年少さんが転ばないように年長さんがサポートしています。通行者からすれ違いざまに子どもたちに笑顔が見られると、気づいた子どもが「おはようございます」と顔を見上げて声をかけ、周囲の子どもも通行者と挨拶を交わしています。道路沿いの住宅に住む人とは慣れた様子で、近づいて挨拶をする時も繋いだ手は離しません。

道路の横断では保育士とともに立ち止まり、線路沿いの車の多い道路でも対向車に立ち止まるなど交

通ルールや安全に注意して歩行しています。公園に到着すると子どもたちは保育士を囲んで丸く座りました。公園遊びの注意事項を聞き「はい！」と元気に返事をし、他の保育園の子どもたちの遊びを邪魔しないようにジャングルジムやトッジボールなど自分で選んで駆け出し、チームになって遊びが始まります。すぐに「〇〇くん遊ぼう」と追いかける子どもがいました。ドッジボールでは、ボールを投げる力が弱い子もくりかえしボールを投げて汗をかいていました。

広い公園は北風が吹いて、昨日の雨で出来た水たまりもあります。「ほら見て、茶色い葉っぱ」と保育士に見せに行く子どももいます。自然の地形を利用した公園には段差があり、坂道を降りると物陰もあります。保育士は子どもたち全員を視野に入れながら、子どもに付き添っています。「先生来て～」と声がかかり、保育士が走ってくと、数名の子どもが折れた木の枝を見つけていました。「わぁ、どこで見つけたの？」と保育士が驚いて見せて、その後に「枝とか葉っぱに気をつけてね」と声を掛けていました。低い植込みや遊具の下の潜り込んで通り抜けごっこをしています。少し離れた植え込みに一人でしゃがんで黙々と枝で地面を掘っている子どももいます。「地面がドロドロしているところがあるから気をつけて」と事前の注意を聞いていたのにもかかわらず遊びに夢中で駆け回り、すべてパンツやトレーナーを泥で汚した子どもがいましたが、「おひさまに乾かしてもらおう」と笑顔で話していました。

3歳児のクラスは、早目に公園遊びを切り上げて、園に戻りました。5歳児はエネルギーが有り余っている様子で、ドッジボールをはじめました。保育士が書いた四角の枠の中で、敵と味方になってボールを追っています。どの子も真剣で、大きく手を振ってボールを欲しがる子ども、逃げるのが得意な子ども、的に当てるのが上手な子どもがいました。

【昼食前の2歳児】

2歳児は体力的な配慮もあり近い公園の散歩から早めに戻り、外の階段を上って直接保育室に入ってきました。2階の保育室前のウッドデッキで靴を脱ぎ、保育室に入ってから汚れた衣類を着替えて手洗いうがいをしています。トイレに走っていく子どももいました。早目に着替えて、玩具のコーナーから好きな玩具を持ち出す子や、本が入った棚によじ登る子どもがいる中で、着替えが進まず、ゆっくりと遊びながら着替える子どももいました。外のウッドデッキの水たまりで遊んでいる数名の子どもは、なかなか保育室に入ってきません。個人差が多きい時期の子どもをよく理解した保育士が、声を荒げることなく上手に促していました。

【屋上バルコニーで野外昼食】

ドッジボールを終えた帰り道、保育士の「屋上は雨で濡れてお昼は無理かな」の言葉に、子どもたちは「屋上で食べたい」と希望がまとまり、園に戻ると手洗いうがいと着替えを済ませ、雑巾を手に屋上へ上がります。屋上に残るそここの水たまりは子どもたちですっかり拭き取られ、保育士によって机が配置され食器や大鍋などが運ばれました。

その頃にはエプロンと帽子を被った給食当番の子どもたちが、運んできた料理を食器に盛付けて並べはじめます。椅子を置いて自分の席が決まった子どもは盛り付けた料理や小鉢、ご飯やスープ、箸を取り自分で食卓を準備しています。食卓準備ができた子どもは同じテーブルの子どもたちと「いただきます」で、食事を始めています。

自由な席決めですが、3歳児テーブルや4・5歳女児のテーブル、4・5歳男子のテーブル、合同テーブルができて、おしゃべりをしながら食事をしています。3歳児男女のテーブルは、好きなキャラクターの話から、「〇ちゃんと一緒」とハイタッチが始まり、子ども同士ハイタッチと笑い声が続けて楽しそうです。子どもたちの間に着席した保育士に隣のテーブルから「〇〇先生は・・・」と囁し言葉が始

まり周囲の席の子どもたちが声をあわせ合唱のようになり、笑顔で受け止める保育士と子どもたちの信頼関係が感じられます。

食事が進むと、保育士がお替わりの料理を持って廻り、手を上げて希望する子どもに配っています。スープのお替わりを配膳テーブルの大鍋から自分でよそう事になったばかりの3歳児は、両手で器を持ちスープがこぼれないように慎重に自分の席に戻って満足げな笑顔を見せています。

4歳児、食物アレルギーのある子どもの料理はすべて別に調理して、トレーには、子どもの名前とアレルギー食材を書いて、お替りも料理ごとに名前を書いたケースに準備されています。

【雪かき・園長とのお弁当】

雪があがり園庭には雪が残っている夕方に、5歳児がスコップを手に3人からだんだんに増えて雪かきを始めたところ、2歳児の保育室からは、見ていた絵本を置いた子どもたちがガラス越しに見学する目には憧れの感情が輝いています。

4期にはいって卒園入学が近づいた子どもたちは、数人ずつ毎日園長と別室で一緒にお昼を食べています。子どもたちは最初、緊張していましたが、園での話や入学する小学校の準備など昼食をとりながら話が進むにつれて不安が取り除かれて希望や夢がもてたのでしょうか、食事を終えた時には自信に満ちた表情で心なしか胸を張っていました。

《異年齢合同保育》

【リズム体操】

5歳児、4歳児、3歳児、2歳児0・1歳児の5チームに分れて年長さんから順番に、同じ曲でリズムに乗って身体を思う存分動かしています。自分たちの演技以外の時は、曲に合わせて大きな声で歌って応援しています。「とんぼのメガネ」ではトンボになった5歳児や4歳児のダイナミックな走りに1歳児の子どもは興奮して仲間入りしそうになり保育士に抱きかかえられています。3歳児は走り始める前から歓声を上げています。

年長さんの「どんぐりコロコロ」の後で、転がった2歳児の子どもには保育士がコロコロを手伝って、保育士も一緒に床でコロコロを見せています。「かわいい金魚」では3歳児でも曲にあわせて身体をねじる事が難しく、0・1歳児の時には、5歳児が乳児のお腹にそっと手を乗せて、身体を揺らすのを手伝うのを、乳児も嬉しそうに受け入れています。

年長さんの演技を年齢別の席で目を輝かせて観ている子どもたちは、自分たちの番がくると着席した子どもたちの歌声に合わせて、年長さんを真似て力を出し切って演技をしています。

事業者コメント

第三者評価は、日頃取り組んでいる保育内容および運営全般について外部からの視点で気づきを得る非常に有効な取り組みであると認識しています。

ここで明らかになった課題、成果、問題点などを職員及び法人全体で共有し、より一層質の高い保育サービスの実践のためにどんな取り組みが必要か、具体的なアクションにつなげてゆきたいと考えています。



Move Forward with Confidence

ビューローベリタスジャパン株式会社 福祉評価部

〒106-0041 東京都港区麻布台 1-7-2 神谷町サンケイビル 7F

TEL : 03-5573-8686 FAX : 03-3505-3389
